

PDF活用ソフト

# PDF

# XChange Standard

PDFエクステンジ スタンダード

ユーザーズマニュアル

# Jungle

# 目次

## Chapter 1

- 1-1 「PDF-XChange Standard」の特徴 2
- 1-2 「PDF-XChange Standard」を GUI でインストールする 4
- 1-3 「PDF-XChange Standard」を「MSI Installer」でインストールする 6

## Chapter 2

- 2-1 「PDF-XChange Standard」の設定画面表示 8
- 2-2 「PDF-XChange Standardのプロパティ」ウィンドウの概要 9
- 2-3 「用紙」設定 13
- 2-4 「カスタムフォーム」設定 16
- 2-5 「一般」設定 18
- 2-6 「圧縮」設定 21
- 2-7 「グラフィック」設定 24
- 2-8 「フォント」設定 26
- 2-9 「透かし」設定 28
- 2-10 「オーバーレイ」設定 31
- 2-11 「セキュリティ」設定 34
- 2-12 「ブックマーク」設定 38
- 2-13 「既定のファイルを追加」設定 40
- 2-14 「ヘッダ/フッタ」設定 42
- 2-15 「ドキュメント情報」設定 44
- 2-16 「保存」設定 46
- 2-17 「メール」設定 49
- 2-18 「最適化」設定 51
- 2-19 「言語」設定 53

# 「PDF-XChange Standard」の 特徴

「PDF-XChange Standard」は、Microsoft Office (Word/Excel/PowerPoint)、AutoCADなど、Windows OS上から印刷可能なあらゆるアプリケーションに対し仮想プリンタとしてPDFファイルを出力することができます。社内確認用 / 研究発表用 / プレスリリース用など、用途に応じた PDF テンプレートを作成することで、社内規定に沿った PDF ドキュメントを容易に作成することが可能です。また、デジタル署名やパスワード保護などのセキュリティ機能も搭載しています。

## 1 「PDF-XChange Standard」の主な機能

本製品は、仮想プリンタとして「PDF ファイル出力」をすることに特化しており、PDF ファイル全ページを「一括」して、下記の機能を実行できます。

※ 1ページ単位でPDFファイルを加工 / 編集する場合は、「PDF-XChange Editor」をお勧めします。

「PDF-XChange Editor」製品ページ：<https://www.junglejapan.com/products/biz/xpdf/editor/>

### ■ PDF ファイルのページ編集機能

- ・PDF ファイルを追加
- ・既存 PDF に規定ページを追加 / 挿入可能
- ・自動ブックマーク作成
- ・ブックマークを追加
- ・ドキュメント 情報 / メタデータ / XP メタデータを追加
- ・ジョブプロファイルをテンプレート化し、他に流用可能
- ・PDF 作成プロパティを全操作可能
- ・埋込フォント管理
- ・ジョブ管理機能

### ■ PDF ファイルの作成機能

- ・ウォーターマークを追加 (テキスト / イメージ)
- ・PDF オーバーレイオプション (他の PDF に重ね合わせる)
- ・PDF 変換時、ページ / ファイルにハイパーリンクを追加
- ・マクロ / Java で設定したルールでファイル名称を制御
- ・イメージファイルを PDF に変換 (ラスター / メタファイル イメージフォーマット)
- ・イメージ / テキストファイルを PDF へ直接変換 (3rd パーティアプリを使用しない)
- ・クリック可能な URL リンクを埋め込む  
例) 「ここをクリック」、「このリンク先を参照」テキストに URL リンクを埋め込む
- ・クリック可能な URL リンクを埋め込む (テキスト表記は URL リンクをフルパス表示)  
例) <https://www.junglejapan.com/>
- ・電子署名サポート (イメージ / 電子署名を、PDF 指定ページ / 全ページ に追加)
- ・PDF 暗号化 / セキュリティ サポート (40/128bit RC4、128/256bit AES 暗号化)
- ・Adobe の規定する PDF フォーマットに準拠したファイル出力 (最新フォーマット Acrobat XI- PDF spec 1.7 対応)

- ・ Microsoft Office で作成した目次 (TOC) 内に存在する「クリック可能なリンク」を PDF へ変換
- ・ PDF 内イメージサイズを調整する際、選択肢 / 調整幅を用意
  1. フルカラー (圧縮方式: リニア / バイリニア / バイキュービック)
  2. グレースケール
  3. モノトーン (単色)

#### ■ PDF の高速閲覧機能

- ・ 高度なメモリー管理 (アプリが軽量かつ低スペック PC で動作)
- ・ 最大解像度 2,400dpi (dots per inch) サポート
- ・ 解像度 / スケーリング 調整
- ・ ISO PDF/A 1a/1b/2a/2b/2u/3a/3b/3u をサポート

#### ■ 印刷機能

- ・ 任意の Windows アプリから仮想プリンタとして「印刷」-「PDF ファイル出力」可能
- ・ ミラー印刷 (左右反転印刷) サポート
- ・ スケーリング印刷サポート
- ・ 用紙設定 / カスタムフォームオプション
- ・ N-up (複数ページを 1 ページに印刷) / ブックレット / パンフレット用印刷設定サポート

#### ■ その他機能

- ・ Microsoft Office ツールバーアドインを本アプリに統合
- ・ より高度なコンテンツ管理に対する最適化
- ・ Windows OS サポート (10/8.1/7)
- ・ PDF ドキュメント権限をサポート
- ・ PDF 出力する際、イメージの圧縮方式を最適化 (JBIG2/JPEG/JPEG2000 ランレングス / ZIP/LZW CCIT3/4)
- ・ PDF を最適化する際、イメージの圧縮方式を選択可能 (テキスト+イメージ→MRC/イメージのみ→イメージフォーマット)
- ・ XPS/GDI の 2 変換エンジンを搭載し、選択可能 (デフォルト指定 / 自動選択 / アプリケーション別指定)
- ・ 多言語 UI サポート
- ・ ターミナルサーバ / Citrix 互換 (非仮想化のみ)
- ・ SMTP/MS MAPI に準拠した自動メール配信

Chapter

1-2

# 「PDF-XChange Standard」を GUIでインストールする

## 1 「PDFXStd7.exe」を起動する

インストールを行う際は、管理者権限でログインしてください。

## 2 「Install」ボタンをクリックする

セットアップウィザード画面が表示されます。

## 3 「Next」ボタンをクリックする

「使用許諾契約書」画面が表示されます。

## 4 ライセンス条項に同意する

「I accept the terms in the License Agreement」にチェックを入れ、「Next」ボタンをクリックします。

## 5 セットアップの種類とインストール先を選択する

コンポーネントを選択してインストールする場合は、「Custom」ボタンを選択します。コンポーネントをすべてインストールする場合は、「Complete」ボタンを選択します。インストール先のフォルダは、通常変更する必要はありません。必要に応じ、「Change」ボタンをクリックして変更します。

セットアップの種類とインストール先を選択後、「Next」ボタンをクリックします。

## 6 ユーザー情報を入力する

「Pro Version」を選択し、ユーザー名、メールアドレス、シリアルキー / アクティベーションコードを入力後、「Next」ボタンをクリックします。

## 7 「Install」ボタンをクリックする

インストールが開始されます。

## 8 「Finish」ボタンをクリックする

ウィンドウ内に「Installation Successfully Completed」と表示されたら、「Close」ボタンをクリックします。

Chapter

1-3

# 「PDF-XChange Standard」を「MSI Installer」でインストールする

ここでは、「64bit MSI Installer」を使用したサイレントインストールの方法を説明します。

## 1 ライセンス証書の「Activation Code」を確認する

ライセンス証書に下記のような「Activation Code」が2つ記載されています。

- ・ 50 User GVBW-6NT3-xxxx-xxxx
- ・ 1000 User BBQ8-H95A-xxxx-xxxx

## 2 「PDF-XChange Standard」を GUI でインストールする

インターネット接続のある環境で、CD 内の「PDFXStd.exe」を使用して「PDF-XChange Standard」をインストールし、「ユーザー名」「メールアドレス」「Activation Code」を入力します。

※ 50 User、1000 User の両方をアクティベーションしてください。



アクティベーションのための作業ですので、この PC から「PDF-XChange Standard」をアンインストールすれば、使用ライセンス数に影響を与えません。

## 3 メールを確認する

インストール時に登録した E-mail アドレスに、インストール用の「key data」が送付されます。

例

**Product Name:** PDF-XChange Editor 5.5.312.1 Single User License

**Customer Name:**

**License Type:** Single User License

**Generated Date:** 11 May 2015

**Maintenance Expiration Date:** 11 May 2016

**Key Data:** PVP20-p0NwTjvjN8YUg+oy8K1/1ymHEntAMjUKVsAjKmpo2MMFgkMG7Ms7UmtL2c2prsVMiuiGTi+xQ\_ekzic8xPH090/  
E5G105eBHQILRnF8eF/r0CzPvEjW0Z+2Mdj16gD6pcRd00yQmiVcbQKA1WhWm+0Lq/ICq/  
dp0i7K24LokypcXB4qa8YINyaxK3IO4zS83DdzsVZcyqjN+rH2E4aig144zu7W8cYJYIGediJUWd  
JnLvn1UwZX1o5ndi5e9Mv1ZgtPFQ08o3AV0WqVqnsnCsS8BgRqT0UmLqYxaILK9aeGTFbD/dAepPZC\_cxoXig8rRcxYt6TG=

## 4 インストールを実行する

コマンドを入力して、インストールを実行します。

以下は、CD内の「64bit MSI Installer」フォルダの「Standard.x64.msi」を使用して、サイレントインストールをする場合のコマンド記載例です。

```
C:\>msiexec /i StandardV6.x64.msi /quiet DDEFLANGID=1041  
ADDLOCAL="F_Drivers,F_Langs_Drv" KEYDATA= ※3項で確認したKey Data※
```

【インストールオプションの機能】

**/quiet** サイレントインストール

**/DDEFLANGID=1041** UIを日本語化

**ADDLOCAL="F\_Drivers,F\_Langs\_Drv"** PDFドライバと言語対応のみインストール

**KEYDATA=** 発行された Key Data



# 「PDF-XChange Standard」 の設定画面表示

「PDF-XChange Standard」は、仮想プリンタとしてインストールされるため、WindowsOS 上で印刷可能なアプリケーションからアクセスします。

ここでは、例として「Microsoft Office Excel」から「PDF-XChange Standard」の設定画面にアクセスする方法を説明します。

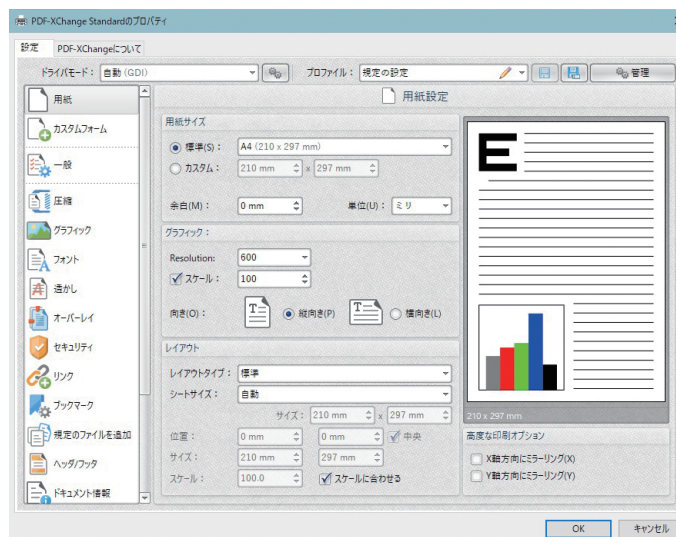
## 1 プリンタの一覧から「PDF-XChange Standard」を選択する

「Excel」の「ファイル」メニューから「印刷」を選択し、プリンタの一覧から「PDF-XChange Standard」を選択します。



## 2 「プリンタのプロパティ」をクリックする

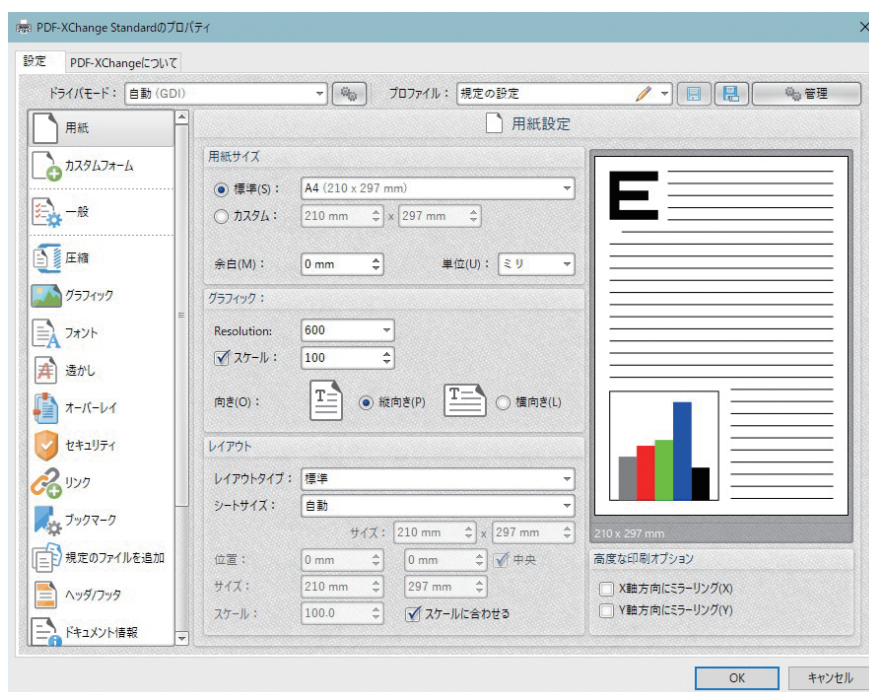
「プリンタのプロパティ」をクリックすると、「PDF-XChange Standard のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



# 「PDF-XChange Standard のプロパティ」ウィンドウの概要

「PDF-XChange Standard のプロパティ」ウィンドウは、「設定」タブと「PDF-Xchange について」タブで構成されています。「設定」タブ内のアイコンをクリックすると、右ペインに選択された機能の詳細項目が表示されます。ここでは、「PDF-XChange Standard のプロパティ」ウィンドウの機能および設定項目について説明します。

## 1 「設定」タブの機能と設定項目

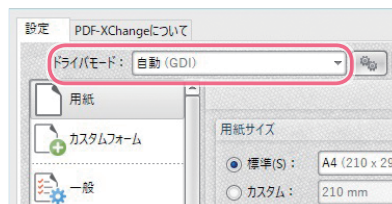


### ○ドライバモード

Microsoft Windows システムのプリンタドライバは、ドキュメントを印刷するために GDI (Unidrv または P-Script ベース) または XPS (XPSDrv) を使用します。「PDF-XChange Standard」はこれらのモードの両方をサポートしており、ドライバモードの設定によってどのモードが使用されるかが決まります。

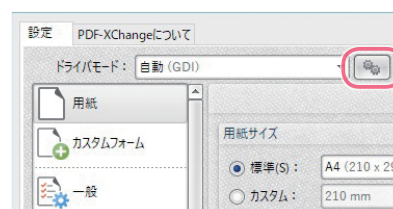
### ●ドライバモードの選択

ドロップダウンメニューから、ドライバモードを選択します。

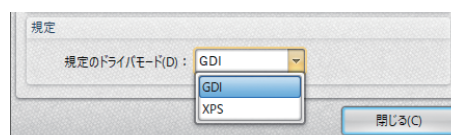
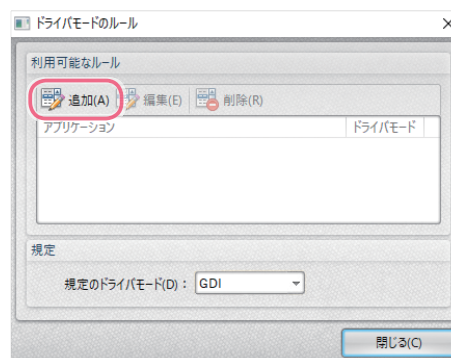


### ●ドライバモードのルール設定

歯車アイコンをクリックして「ドライバモードのルール」ウィンドウを開きます。



「追加」ボタンをクリックして、特定のアプリケーションの印刷を「GDI」または「XPS」に設定します。



ドライバモードは通常「自動 (GDI)」に設定し、変更する必要はありません。作成されたPDFがWindows XPSにしか対応していない場合のみ、「XPS」に変更します。

※ XPS : Windows が策定するマルチメディアをカバーする記述言語

### ○プロファイル

PDF 出力やアプリケーションの動作環境など「PDF-XChange Standard」上で設定した全ての内容をプロファイルとして保存します。また、既存プロファイルの編集やプロファイルのインポート / エクスポート機能を利用して、設定情報 (PDF テンプレート) を共有することができます。

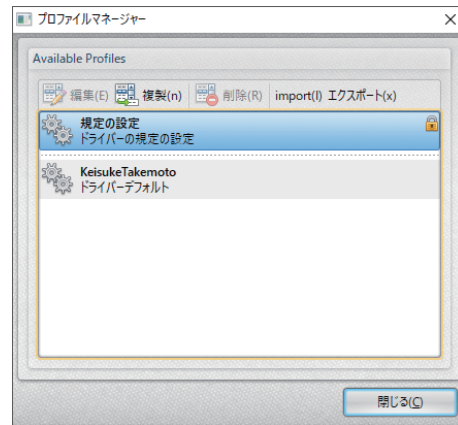
### ●プロファイルの選択

ドロップダウンメニューから、作成したプロファイルを選択します。



### ● プロファイルの管理

「管理」ボタンをクリックすると「プロファイルマネージャー」ウィンドウが開き、プロファイルの追加、削除、編集、インポート、エクスポートが実行できます。



### ○ 設定項目リスト

ウィンドウの左側には、「PDF-XChange Standard」の全ての設定項目が一覧表示されています。リスト内の項目をクリックして、各項目の詳細な設定内容を設定内容領域に表示します。

※各オプションの設定内容の詳細は次項以降で説明しています。

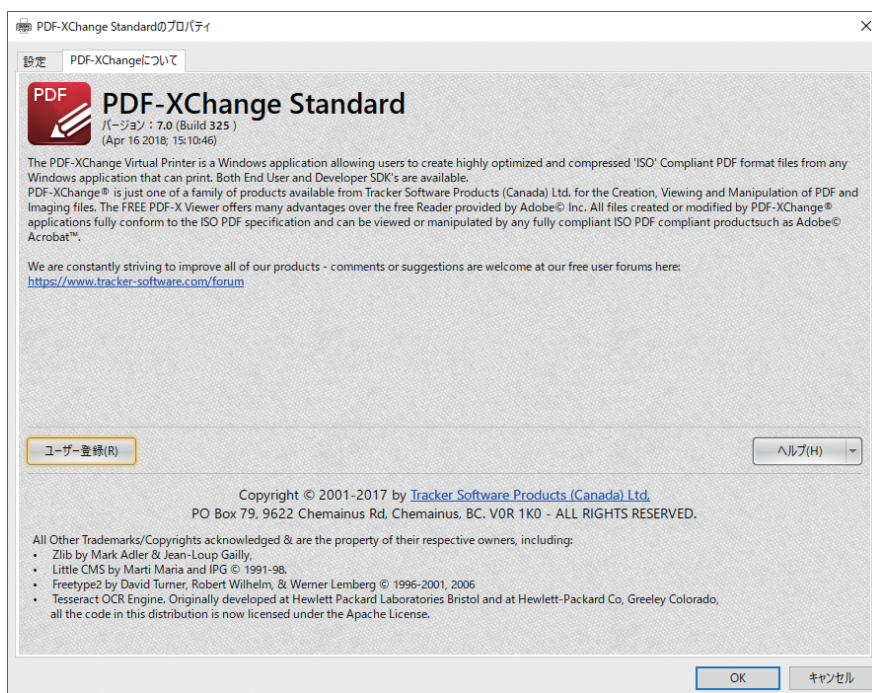
### ○ 設定項目表示領域

オプションリスト内で選択された設定項目の詳細な設定内容が表示されます。



## 2

## 「PDF-XChange について」タブの機能と設定項目



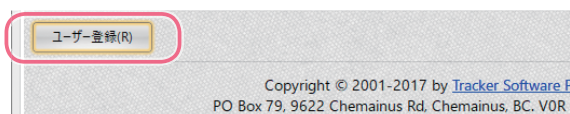
## ○バージョン情報

現在インストールされているアプリケーションのバージョンが表示されています。

## ○ユーザー登録

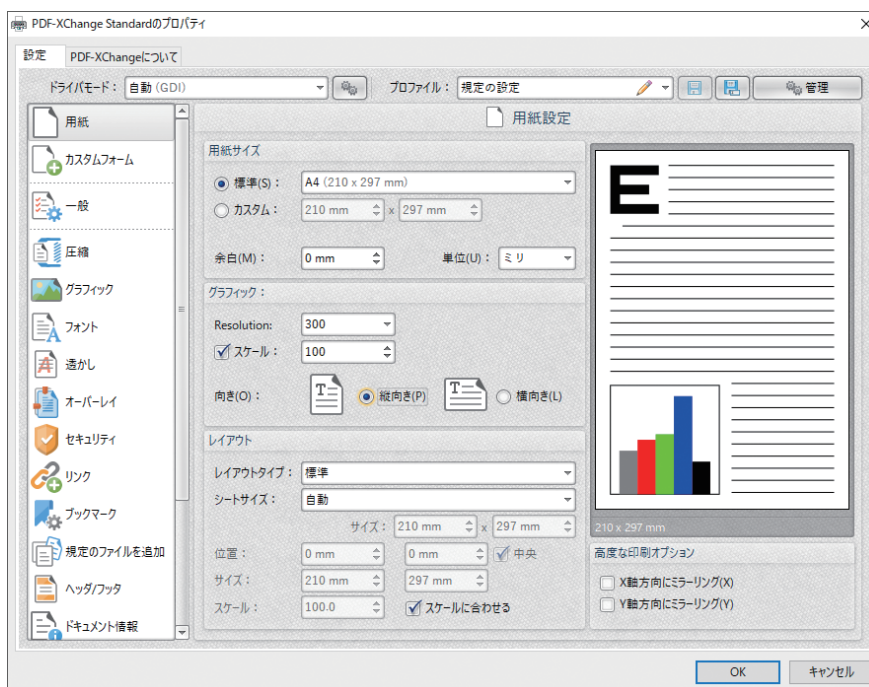
「PDF-XChange Standard」の体験版をインストールした後にフルバージョンを購入した場合は、シリアル番号を入力する必要があります。

「ユーザー登録」ボタンをクリックして表示される「ライセンスキー」ウィンドウ内の「新たなシリアルキーを追加」ボタンをクリックして、シリアルキーを入力します。入力後、「続ける」ボタンをクリックすると登録されます。



## 「用紙」設定

「用紙」では、ページサイズ、向き、余白、倍率、レイアウトと印刷順序、DPI 解像度などを設定します。



## 1 「用紙サイズ」の設定項目

「用紙サイズ」ではドキュメントのサイズを設定します。

### ● 標準

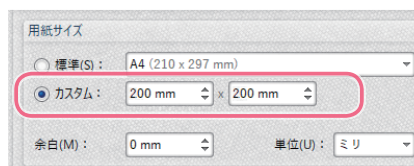
標準の用紙サイズ、および「カスタムフォーム」機能を使用して作成したカスタムプロファイルが選択できます。

※ 「カスタムフォーム」機能については、『「カスタムフォーム」設定』（→ P17）



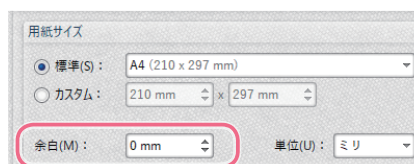
### ●カスタム

ドキュメントのサイズを指定します（最大508cmまで）。



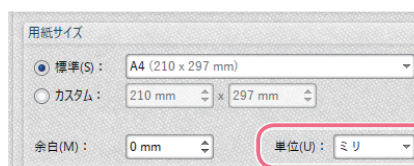
### ●余白

ドキュメントの余白を調整します。



### ●単位

ドロップダウンリストを使用して、長さの単位（インチ、ミリ、ポイント）を切り替えます。



## 2 「グラフィック」の設定項目

### ● Resolution

ドロップダウンリストを使用して、文書中の画像の解像度（DPI）を切り替えます。



DPI (Dots per Inch) は1インチあたりのドット数をあらわします。「Resolution」の数値を大きくすると、画質が良くなりますが、通常はファイルサイズが大きくなります。画質をよりよくしたい場合は数値を大きく、ファイルサイズを小さくしたい場合は小さく設定します。

### ●スケール

元のコンテンツとの関連で変換されたドキュメントのサイズを設定します。



### ●向き

ページの向きを「縦」「横」で設定します。



### 3 「ページレイアウト」の設定項目

#### ●レイアウトタイプ

以下の3種類のレイアウトから選択します。

##### 【標準】

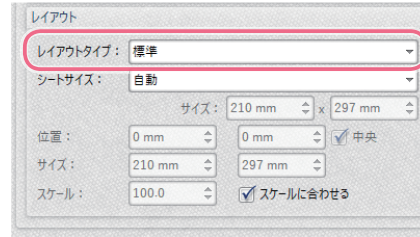
PDFの1ページごとにドキュメントの1ページを配置

##### 【シートあたりのページ数】

PDFの1ページごとにドキュメントの複数ページを配置

##### 【ブックレット】

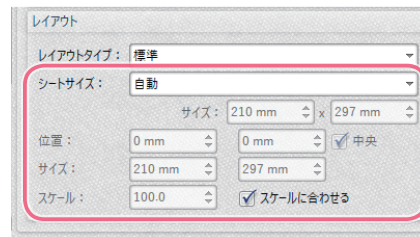
PDFの1ページごとにドキュメントの隣接する2ページを配置（冊子の見開き仕様）



#### ●シートサイズ

PDFのページサイズを選択します。標準の用紙サイズのほか、「カスタムサイズ」を選択して任意のサイズを指定することができます。

「自動」を選択すると、用紙サイズを自動的に設定します。



#### ●高度な印刷オプション

「X軸方向にミラーリング」は、横軸に反転されたドキュメントが印刷されます。

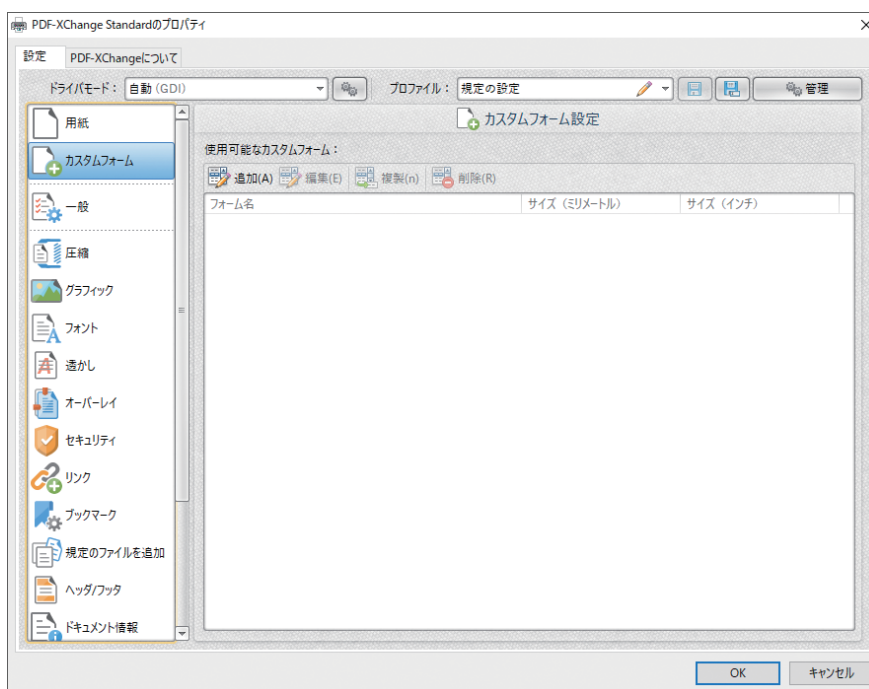
「Y軸方向にミラーリング」は、縦軸に反転されたドキュメントが印刷されます。





## 「カスタムフォーム」設定

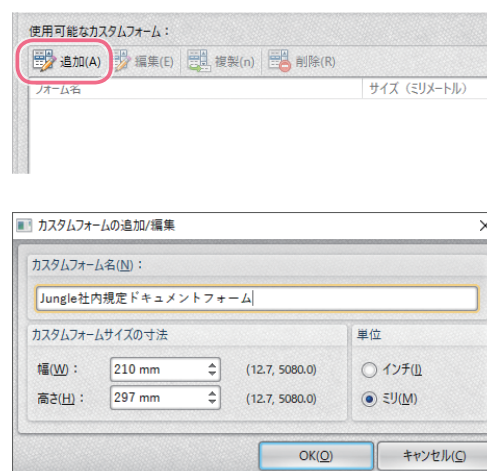
「カスタムフォーム」では、ユーザー独自のドキュメントサイズフォームを作成・保存します。



## 1 「カスタムフォーム設定」の設定項目

## ●追加

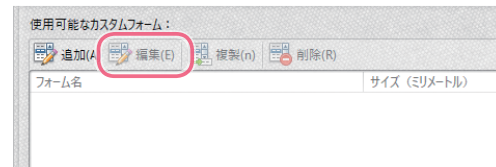
新しいカスタムフォームを追加するには、「追加」をクリックし、「カスタムフォームの追加/編集」ウィンドウを開きます。カスタムフォームの名前、カスタムフォームサイズ、長さの単位を入力して「OK」ボタンをクリックします。



追加したカスタムフォームは、カスタムフォームダイアログボックスで詳細に表示され、「用紙」設定の「用紙サイズ」ドロップダウンメニューでも選択できます。

- 編集

文書のサイズを指定します（最大 508cm まで）。ドロップダウンリストを使用して、長さの単位（インチ、ミリ、ポイント）を切り替えます。



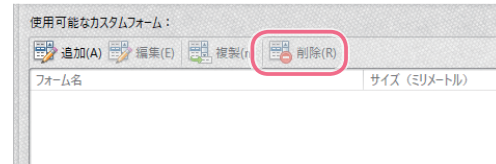
- 複製

選択したフォームのコピーを作成します。



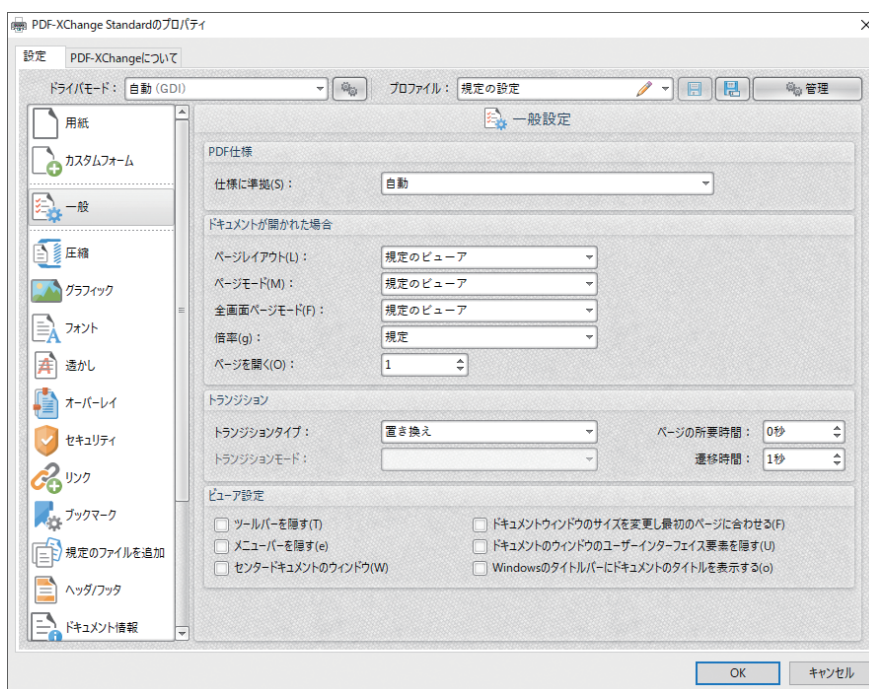
- 削除

選択したフォームを削除します。



## 「一般」設定

「一般」では、PDFの仕様や閲覧方法についての詳細を設定します。



## 1 「PDF仕様」の設定項目

### ●仕様に準拠

ドロップダウンメニューを使用して、PDFの仕様を選択します。Adobe Acrobat 指定バージョンまたはPDF/A (ISO〈国際標準化機構〉が制定している国際標準) に準拠したPDF出力を選択することができます。



「機密性の高いドキュメント(パスワードを付加)」、「レイアウト構成の再現性」が必要な書類は、「PDF/A-2(a/b/u)」「PDF/A-3(a/b/u)」を選択してください。

## 2 「ドキュメントが開かれた場合」の設定項目

### ● ページレイアウト

出力された PDF を開いたときのページレイアウトの初期状態を設定します。

ドキュメントが開かれた場合

ページレイアウト(L):	規定のビューア
ページモード(M):	規定のビューア
全画面ページモード(F):	規定のビューア
倍率(g):	規定
ページを開く(O):	1

### ● ページモード

出力された PDF を開いたときに表示される表示項目（ブックマークやサムネイルペインなど）を設定します。

ドキュメントが開かれた場合

ページレイアウト(L):	規定のビューア
ページモード(M):	規定のビューア
全画面ページモード(F):	規定のビューア
倍率(g):	規定
ページを開く(O):	1

### ● 全画面ページモード

出力された PDF がフルスクリーンモードで開かれたときに表示される表示項目（ブックマークやサムネイルペインなど）を設定します。

ドキュメントが開かれた場合

ページレイアウト(L):	規定のビューア
ページモード(M):	規定のビューア
全画面ページモード(F):	規定のビューア
倍率(g):	規定
ページを開く(O):	1

### ● 倍率

出力された PDF が開かれたときの拡大率を決定します。

ドキュメントが開かれた場合

ページレイアウト(L):	規定のビューア
ページモード(M):	規定のビューア
全画面ページモード(F):	規定のビューア
倍率(g):	規定
ページを開く(O):	1

### ● ページを開く

出力された PDF を開いた際に表示されるページを指定します。

ドキュメントが開かれた場合

ページレイアウト(L):	規定のビューア
ページモード(M):	規定のビューア
全画面ページモード(F):	規定のビューア
倍率(g):	規定
ページを開く(O):	1

### 3 「トランジション」の設定項目

自動ページ送り設定の際、ページが移動する際に適用するエフェクトを設定します。

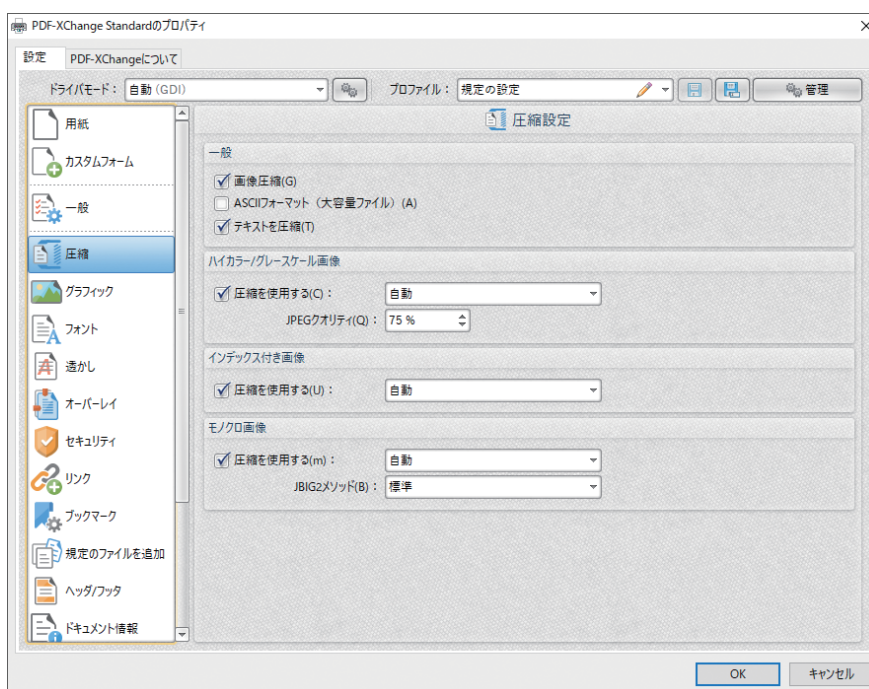
さらに、ページの表示時間やトランジションの長さを、「ページの所要時間」「遷移時間」数値ボックスを使用して設定します。

### 4 「ビューア設定」の設定項目

必要に応じて、ビューア設定項目のチェックボックスにチェックを入れます。

## 「圧縮」設定

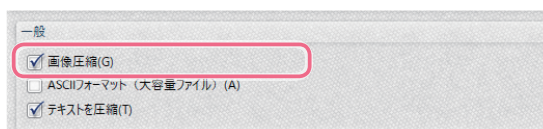
「圧縮」では、出力されるPDFドキュメントを圧縮してファイルサイズを縮小するためのパラメータを設定します。MRC (Mixed Raster Content) をサポートし、非常に強力かつ高解像度を維持したまま PDF ファイルサイズを圧縮できます。



## 1 「一般」の設定項目

## ● 画像圧縮

出力されるPDFのグラフィックスを圧縮する際に選択します。このボックスを選択すると、ハイカラー/グレースケールイメージ、インデックスイメージおよびモノクロイメージの圧縮オプションが有効になります。



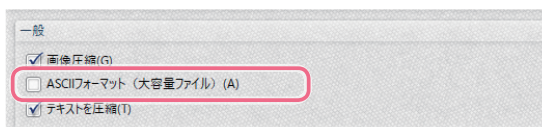
## ● ASCIIフォーマット (大容量ファイル)

出力されるPDFをASCII文字エンコーディングで圧縮する際に選択します。



- テキストを圧縮

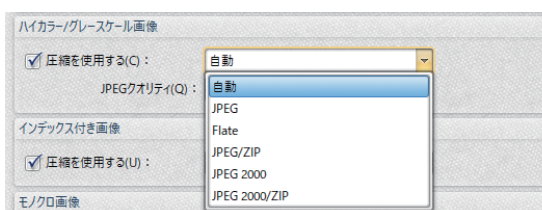
出力されるPDFのテキストを圧縮する際  
に選択します。



## 2 「ハイカラー / グレースケール画像」の設定項目

- 圧縮を使用する

チェックボックスにチェックを入れた後、ド  
ロップダウンメニューで圧縮の種類を選択  
します。



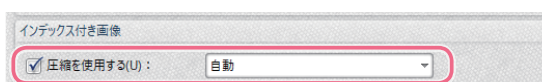
- JPEGクオリティ

高品質カラー / グレースケールイメージの  
JPEG品質を設定します。



## 3 「インデックス付画像」の設定項目

チェックボックスにチェックを入れた後、ド  
ロップダウンメニューで圧縮の種類を選択  
します。「Run Length」「Flate」「LZW」  
の圧縮フォーマットをサポートしています。



## 4 「モノクロ画像」の設定項目

- 圧縮を使用する

チェックボックスにチェックを入れた後、ドロップダウンメニューで圧縮の種類を選択します。

「Flate」「CCITT Group3」「CCITT Group4」「Run Length」「JBIG2」の圧縮フォーマットをサポートしています。



- JBIG2 メソッド

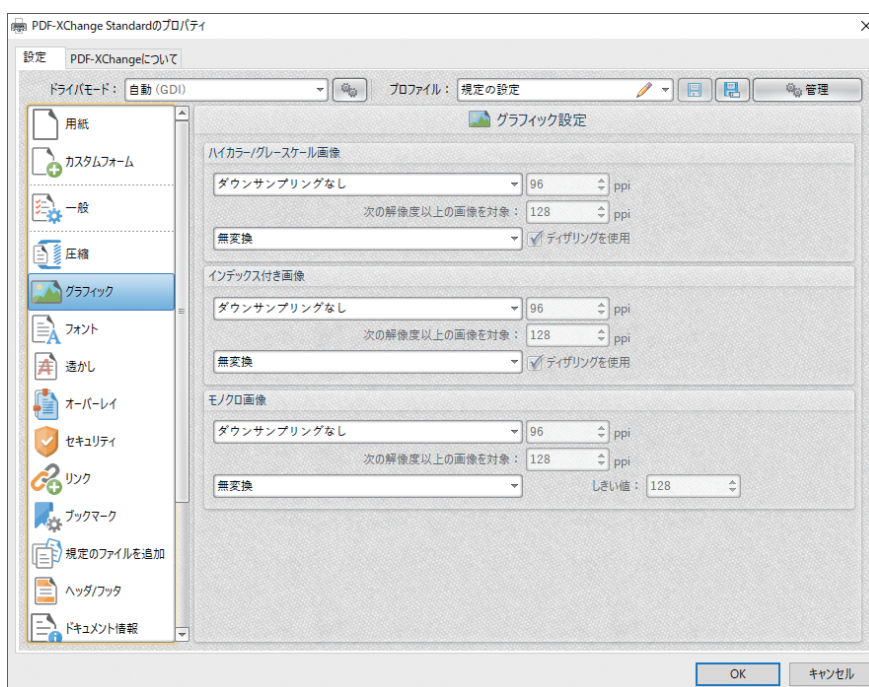
JBIG2 圧縮の方法を設定します。





## 「グラフィック」設定

「グラフィック」では、PDF ファイルを画像ファイルとして出力するためのダウンサンプリング（次頁「Hint」を参照）と変換オプションを設定します。



## 1 「ハイカラー / グレースケール画像」の設定項目

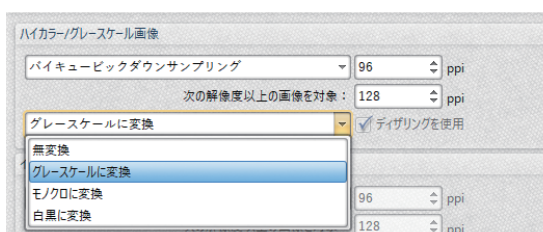
### ●ドロップダウンメニュー（上）

ダウンサンプリングする際の変換方法を「リニア」「バイリニアダウンサンプリング」「バイキューブダウンサンプリング」から選択します。右側の数値ボックスで解像度を指定することができます。



### ●ドロップダウンメニュー（下）

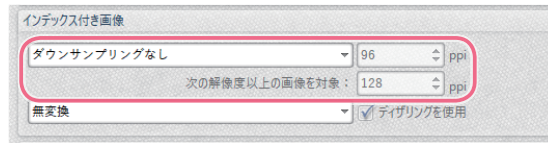
変換する形式を「グレースケールに変換」「モノクロに変換」「白黒に変換」から選択します。



## 2 「インデックス付画像」の設定項目

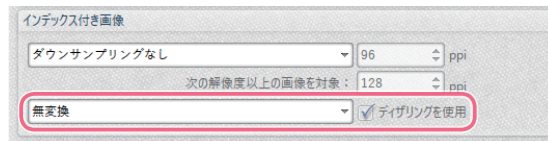
### ●ド롭ダウンメニュー（上）

ダウンサンプリングする際の変換方法を「リニア」「バイリニアダウンサンプリング」「バイキューブダウンサンプリング」から選択します。右側の数値ボックスで解像度を指定することができます。



### ●ド롭ダウンメニュー（下）

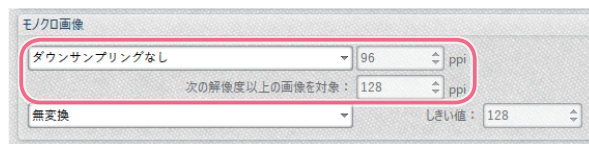
変換する形式を「グレースケールに変換」「モノクロに変換」「白黒に変換」から選択します。



## 3 「モノクロ画像」の設定項目

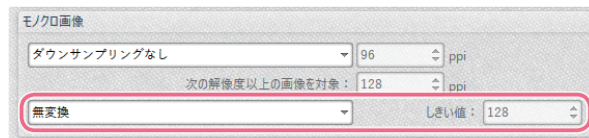
### ●ド롭ダウンメニュー（上）

ダウンサンプリングする際の変換方法を「リニア」「バイリニアダウンサンプリング」「バイキューブダウンサンプリング」から選択します。右側の数値ボックスで解像度を指定することができます。



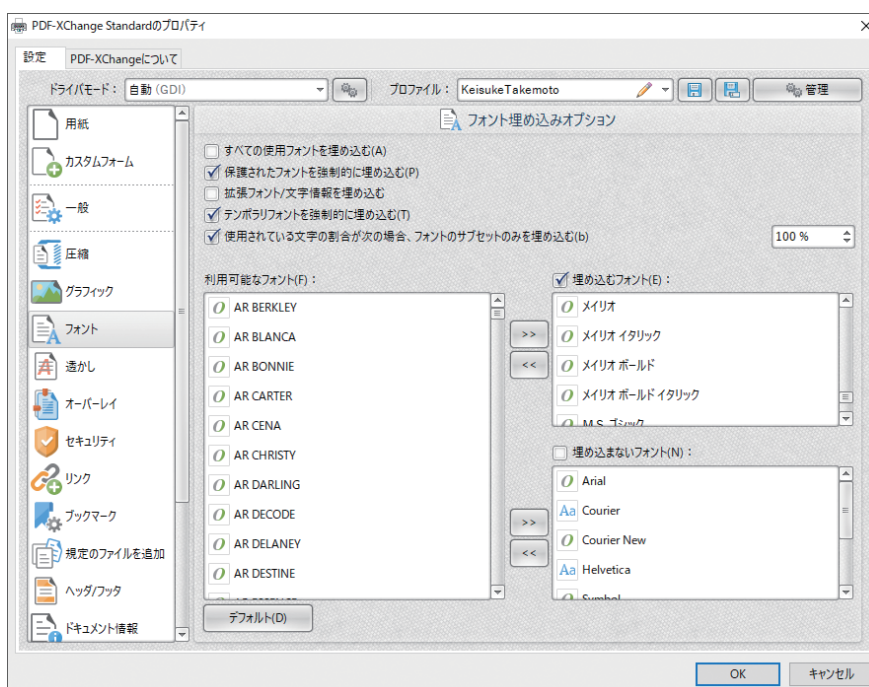
### ●ド롭ダウンメニュー（下）

変換する形式を「グレースケールに変換」「白黒に変換」から選択します。



ダウンサンプルは PDF ファイルの圧縮方法の一つです。ダウンサンプルを適用すると、高い圧縮率が得られ、ファイルサイズを小さくすることができます。Web 上での使用を目的とした PDF ファイルなどへの適用が有効です。一方、ダウンサンプルを行うことで、画像内のピクセル数が減少するため、高解像度で印刷するような PDF ファイルの場合は、ダウンサンプルを適用するべきではありません。

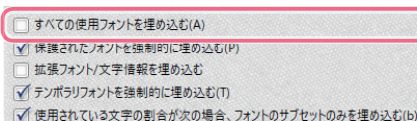
標準以外のフォントや特殊文字を使用した PDF を、作成時と異なる環境で正しく表示させるためには、フォントの埋め込みが必要となります。ここではフォントを埋め込んだ PDF ファイルを作成するための設定について説明します。



## 1 「フォント埋め込みオプション」の設定項目

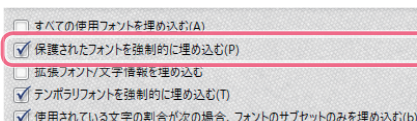
### ●すべての使用フォントを埋め込む

このオプションを選択すると、ドキュメントで使用されているすべてのフォントを埋め込みます。これによりファイルサイズが大きくなりますが、異なる PC 環境でも正しく文字を表示することができます。

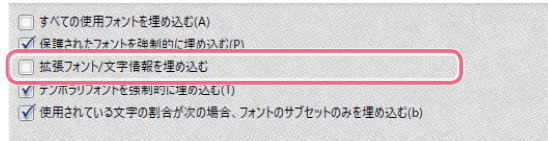


### ●保護されたフォントを強制的に埋め込む

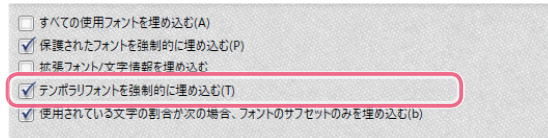
保護されたフォントをドキュメントに強制的に埋め込みます。一部のライセンスが必要なフォントで、このオプションを使用する場合は、アクセス許可を確認する必要があります。



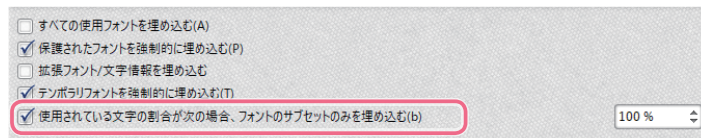
- 拡張フォント / 文字情報を埋め込む  
拡張フォント / 文字情報を埋め込みます。



- テンポラリフォントを強制的に埋め込む  
ドキュメントに一時フォントを埋め込みます。



- 使用されている文字の割合が次の場合、  
フォントのサブセットのみを埋め込む  
ドキュメントで使用されているフォントの割合が、右側の数字ボックスに入力された割合よりも小さい場合、フォントのサブセット (テキストで実際に使用しているフォントの文字) のみを埋め込みます。これによりファイルのサイズが最適化されますが、後で文書を編集する必要がない場合にのみ使用してください。

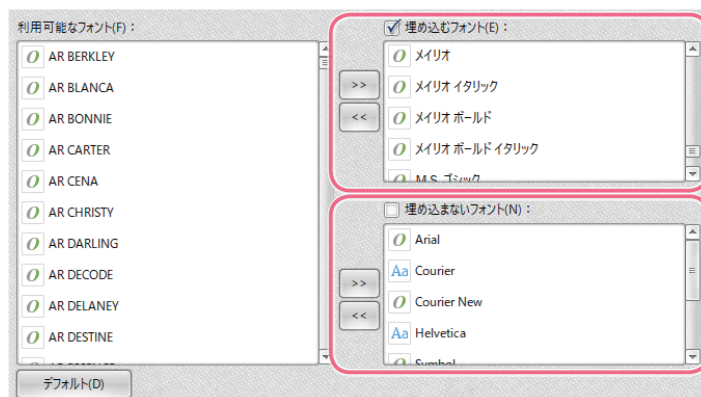


- 埋め込むフォント

特定のフォントだけを埋め込みます。フォントを埋め込むには、「埋め込むフォント」のチェックボックスにチェックを入れ、「利用可能なフォント」一覧から埋め込みたいフォントを選択し、「>>」ボタンを使用して「埋め込むフォント」一覧に移動します。

- 埋め込まないフォント

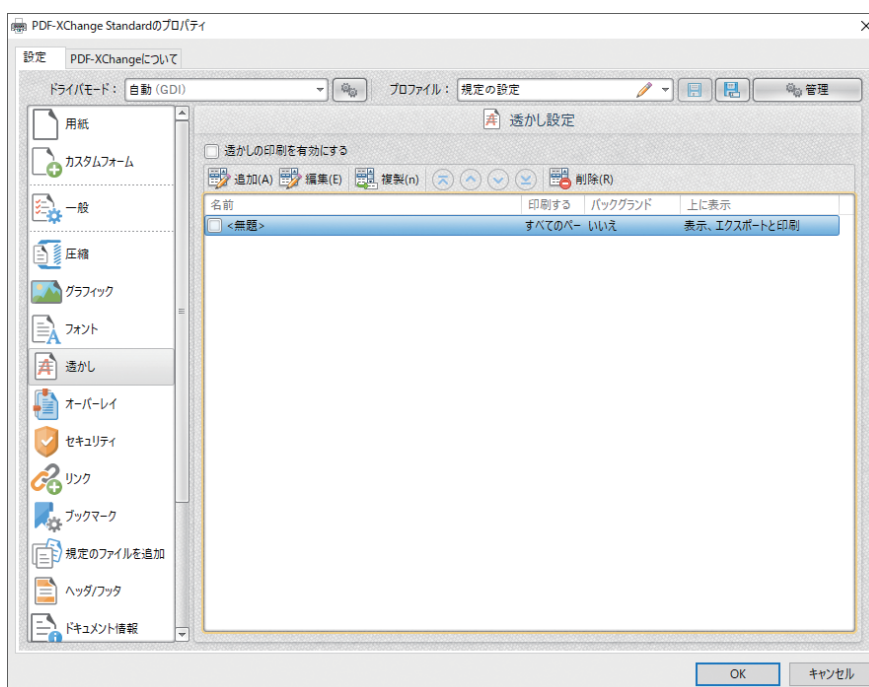
特定のフォントを埋め込まないようにします。「埋め込まないフォント」のチェックボックスにチェックを入れ、「利用可能なフォント」一覧から埋め込みたくないフォントを選択し、「>>」ボタンを使用して「埋め込むフォント」一覧に移動します。



ファイルサイズを最適化するためには、一般的でないフォントを埋め込み、一般的なフォントを埋め込まないようにするのが最適な方法です。

## 「透かし」設定

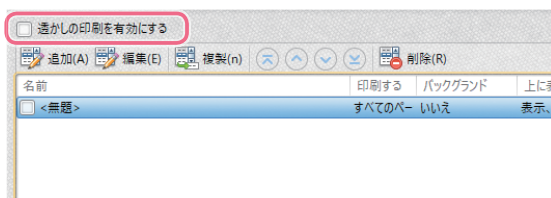
「PDF-XChange Standard」では、企業ロゴ / 社外秘 / 社内資料などのウォーターマーク（透かし）をドキュメント内に挿入することができます。



## 1 「透かし設定」の設定項目

### ● 透かし印刷を有効にする

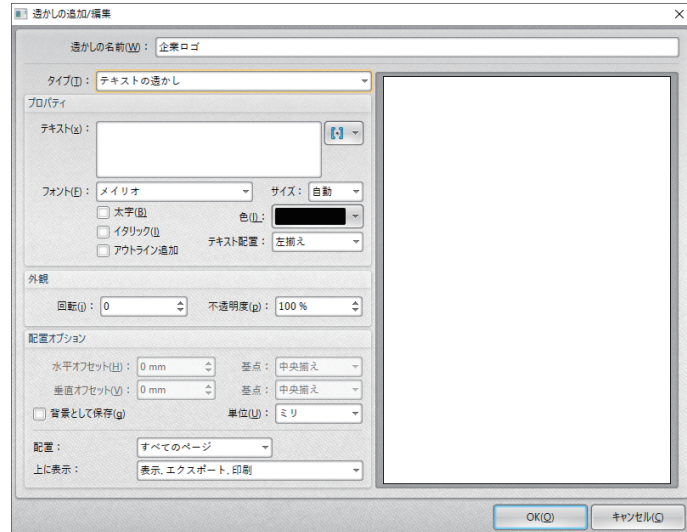
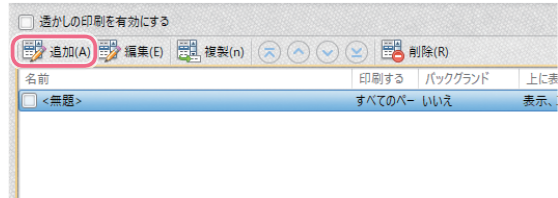
チェックボックスにチェックを入れると、ウォーターマークの印刷が有効になり、「ウォーターマークペイン」で選択したウォーターマークが、ドキュメント印刷時に追加されます。



## ●追加

「追加」をクリックすると「透かしの追加 / 編集」ウィンドウが開きます。

ウォーターマークとして挿入できるのは、テキスト / 画像の 2 種類です。



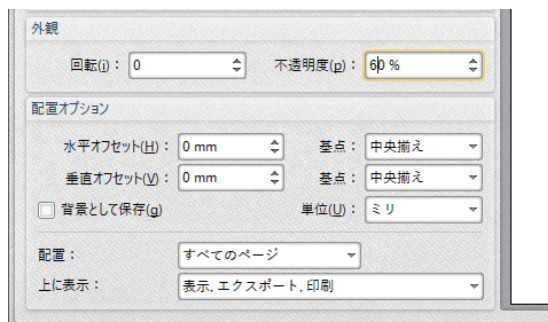
ドロップダウンメニューで「テキストの透かし」を選択して、ウォーターマークとするテキストを設定します。



ドロップダウンメニューで「透かし画像」を選択して、ウォーターマークとする画像のサイズを設定します。



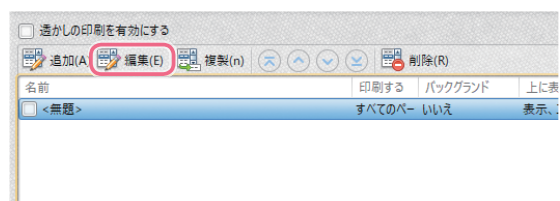
ウォーターマークの透過度 / 位置 / 回転 / 表示ページ / 表示条件などの詳細項目を設定します。



設定に名前を付けて「OK」をクリックして保存します。

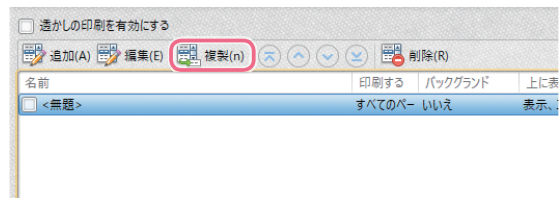
- 編集

作成済みのウォーターマークの内容を変更します。



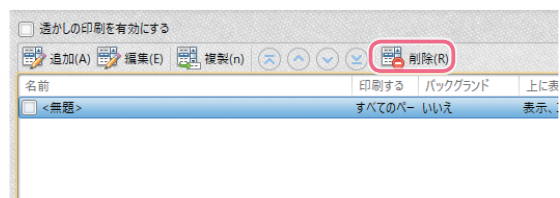
- 複製

選択した透かしのコピーを作成します。



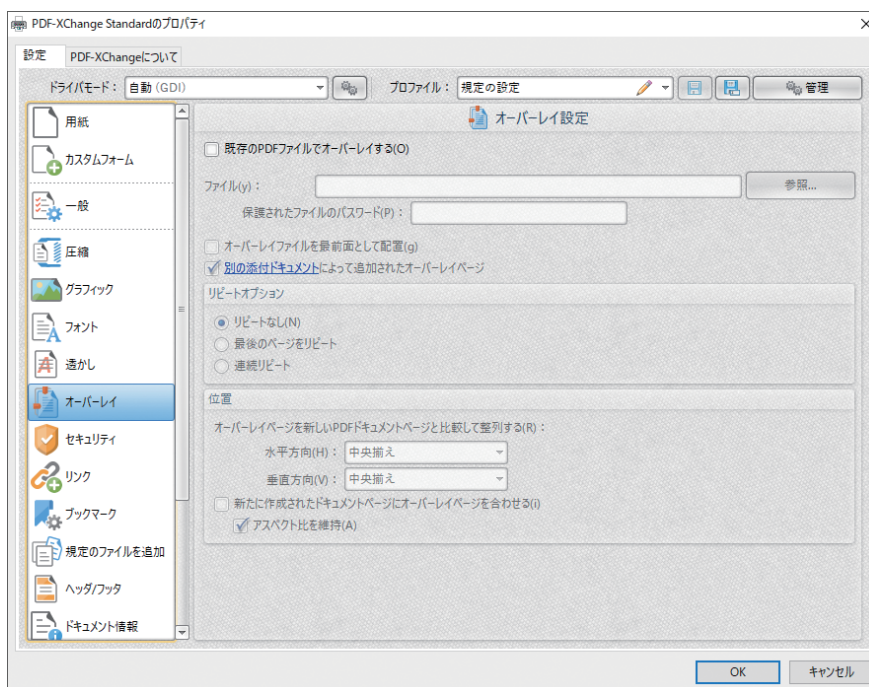
- 削除

選択した透かしを削除します。



## 「オーバーレイ」設定

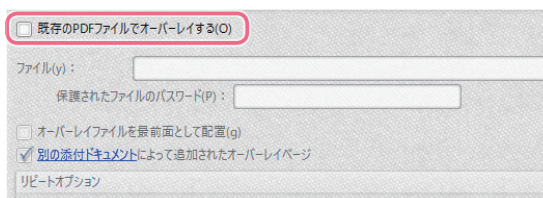
「オーバーレイ」の機能を使用すると、複数のファイルを一つの PDF ファイルに結合することができます。例えば規定のフレームにドキュメントを重ね合わせてフレーム付きの文書を作成するといった用途に利用できます。



## 1

## 「既存の PDF ファイルでオーバーレイする」の設定項目

●既存の PDF ファイルでオーバーレイする  
チェックボックスにチェックを入れると、オーバーレイが有効になります。





### ●ファイル

テキストボックスにオーバーレイするファイルの名前を入力するか、「参照」をクリックしてファイルを選択します。



### ●保護されたファイルのパスワード

選択したファイルがパスワードで保護されている場合は、「保護されたファイルのパスワード」テキストボックスにパスワードを入力します。



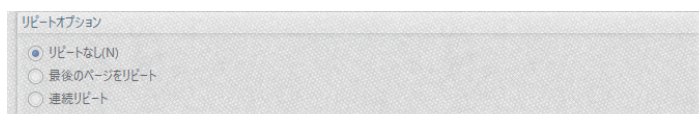
●オーバーレイファイルを最前面として配置  
ドキュメントの全面にオーバーレイを配置します。



## 2 「リポートオプション」の設定項目

### ●リピートなし

オーバーレイ文書のページ数を越えるドキュメントページには、オーバーレイを結合しません。



### ●最後のページをリピート

オーバーレイ文書のページ数を越えるドキュメントページには、オーバーレイ文書の最後のページを結合します。

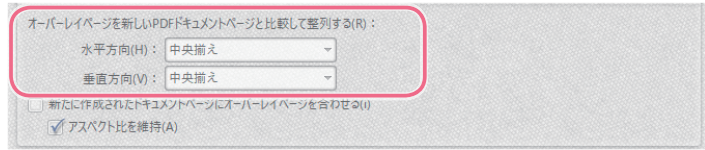
### ●連続リピート

オーバーレイ文書のページ数を越えるドキュメントページには、オーバーレイ文書の最初のページから順次結合します。

### 3 「位置」の設定項目

- オーバーレイページを新しいPDFページと比較して整列する

オーバーレイファイルの配置位置を設定します。



オーバーレイページを新しいPDFドキュメントページと比較して整列する(R) :

水平方向(H) : 中央揃え

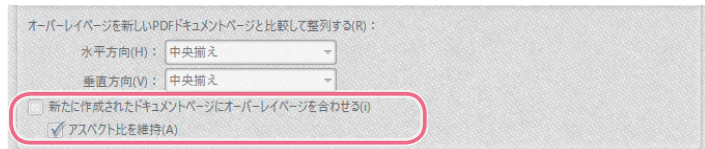
垂直方向(V) : 中央揃え

新たに作成されたドキュメントページにオーバーレイページを合わせる(O)

アスペクト比を維持(A)

- 新たに作成されたドキュメントページにオーバーレイページを合わせる

オーバーレイをPDFドキュメントのページサイズに合わせます。



オーバーレイページを新しいPDFドキュメントページと比較して整列する(R) :

水平方向(H) : 中央揃え

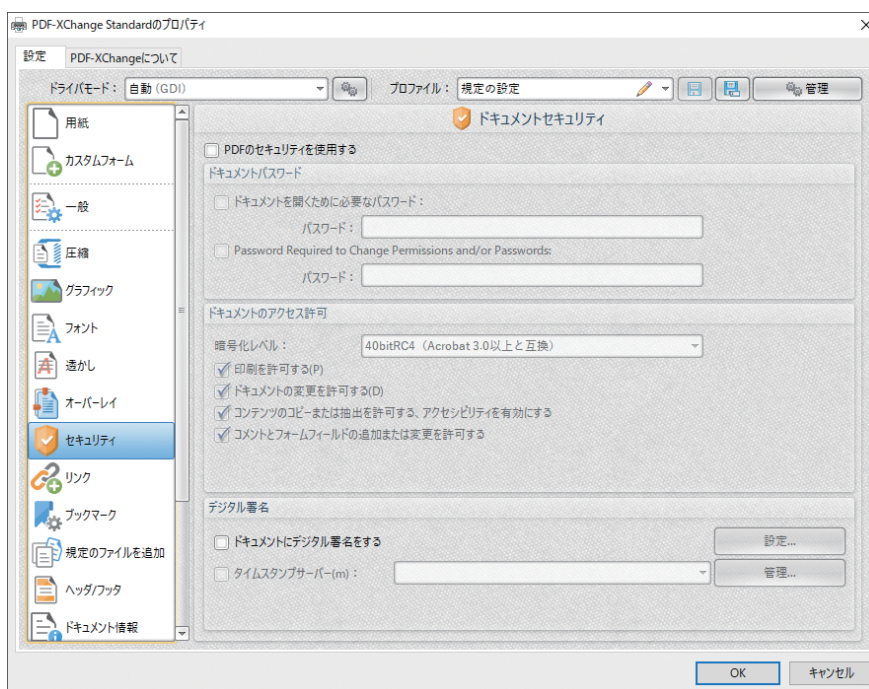
垂直方向(V) : 中央揃え

新たに作成されたドキュメントページにオーバーレイページを合わせる(O)

アスペクト比を維持(A)

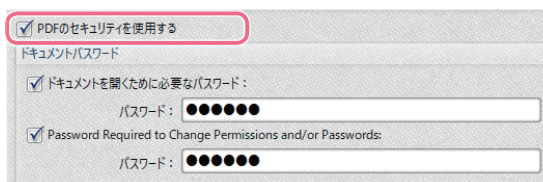
## 「セキュリティ」設定

「PDF-XChange Standard」では、40/120bit RC4、128/256bit AES 暗号化オプションをサポートしています。またデジタル署名もサポートし、パスワード保護・権限オプションも利用可能です。ここでは、セキュリティ設定の具体的な設定方法を説明します。



## 1 ドキュメントにパスワードを設定する

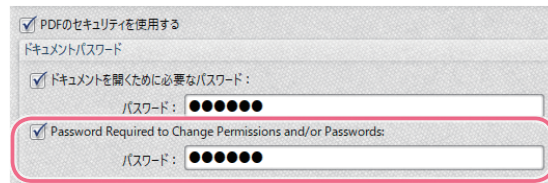
① 「PDFのセキュリティを使用する」チェックボックスにチェックを入れます。



② 「ドキュメントを開くために必要なパスワード」チェックボックスにチェックを入れ、「パスワード」テキストボックスにパスワードを入力します。



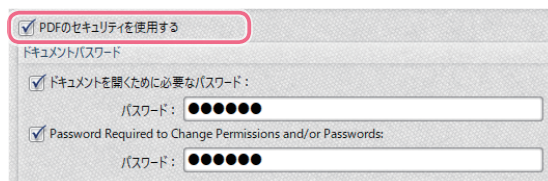
③ 「Password Required to Change Permissions and/or Passwords」チェックボックスにチェックを入れ、「パスワード」テキストボックスにパスワードを入力します。



④ PDF 出力するファイルに、閲覧及び権限設定やパスワードを変更するためのパスワードが設定されます。

## 2 ドキュメントにアクセス権を設定する

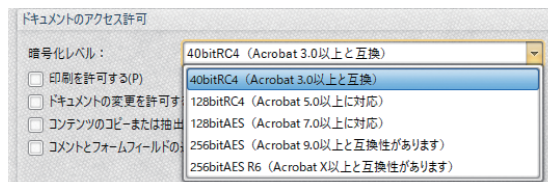
① 「PDF のセキュリティを使用する」チェックボックスにチェックを入れます。



② 「Password Required to Change Permissions and/or Passwords」チェックボックスにチェックを入ます。

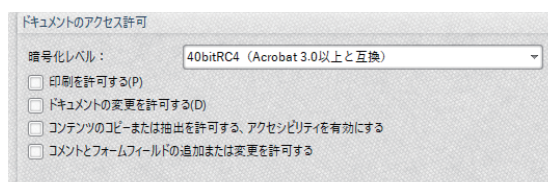


③ 「暗号化レベル」ドロップダウンメニューから暗号化レベルを選択します。



④ 以下の権限項目から有効にする項目を選択して有効にします。

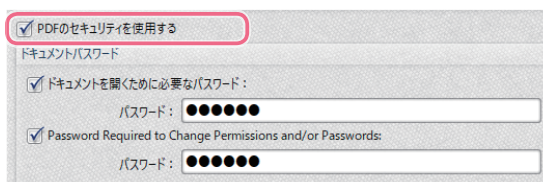
- 印刷を許可する
- ドキュメントの変更を許可する
- コンテンツのコピーまたは抽出を許可する、アクセシビリティを有効にする
- コメントとフォームフィールドの追加または変更を許可する



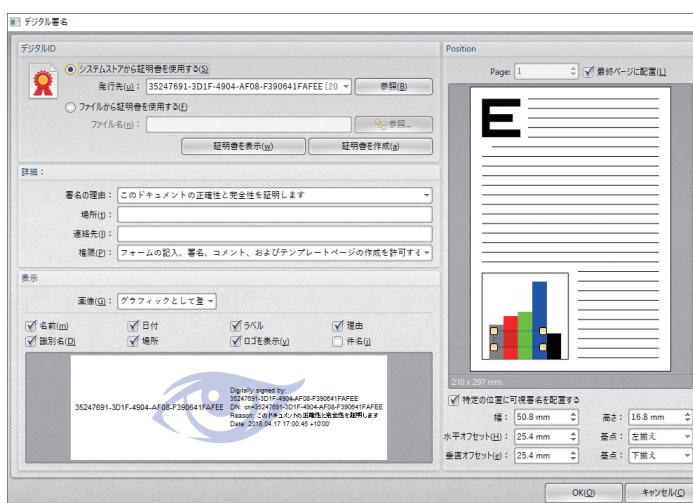
⑤ PDF 出力するファイルに、設定した権限が適用されます。

### 3 デジタル署名を作成する

- ① 「PDFのセキュリティを使用する」チェックボックスにチェックを入れます。



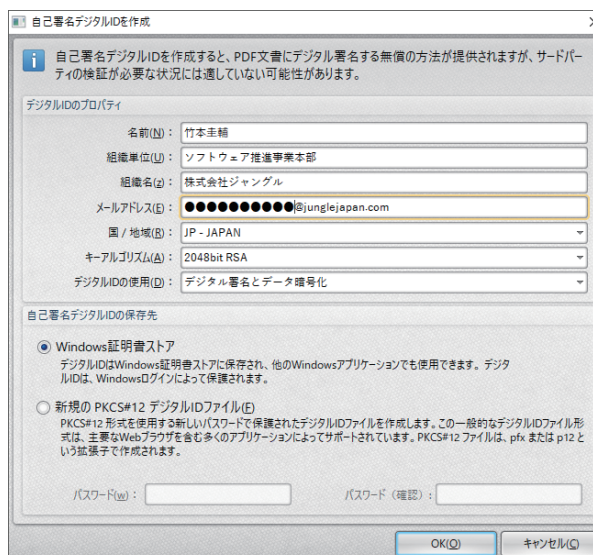
- ② 「設定」ボタンをクリックし、「デジタル署名」ウィンドウを表示します。



- ③ 「デジタルID」項目の中の「証明書を作成」ボタンをクリックし、「自己署名のデジタルIDを作成」画面を表示します。



- ④ 署名内容を入力し、「OK」ボタンをクリックし、「自己署名のデジタルIDの作成」画面に戻ります。



- ⑤必要に応じて、「詳細」の各項目への入力及び「表示」項目の選択をし、「OK」ボタンをクリックします。

詳細：  
署名の理由： このドキュメントの正確性と完全性を証明します  
場所(I)：  
連絡先(I)：  
権限(I)： フォームの記入、署名、コメント、およびテンプレートページの作成を許可する

表示  
画像(I)： グラフィックとして表示

名前(N)     日付     ラベル     理由  
 識別名(I)     場所     ログを表示(L)     件名(I)

35247691-3D1F-4904-AF08-F390641FAFEE  
Digitally signed by:  
35247691-3D1F-4904-AF08-F390641FAFEE  
DN: cn=35247691-3D1F-4904-AF08-F390641FAFEE  
Reason: このドキュメントの正確性と完全性を証明します  
Date: 2018.04.17 17:00:45 +1000

35247691-3D1F-4904-AF08-F390641FAFEE  
35247691-3D1F-4904-AF08-F390641FAFEE  
このドキュメントの正確性と完全性を証明します  
17:00:45 +1000

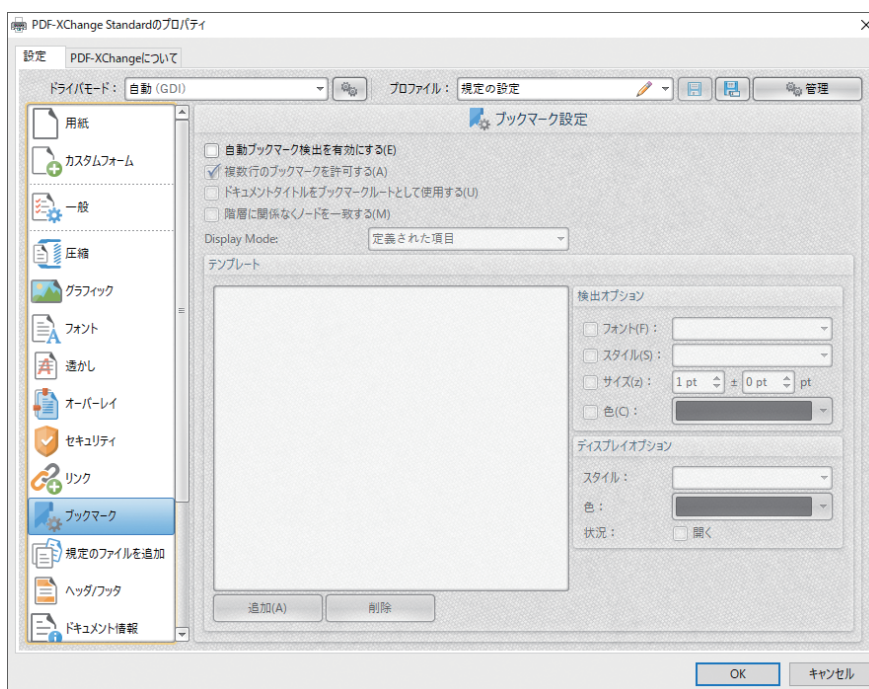
特定の位置に可視署名を配置する  
幅： 50.8 mm    高さ： 16.8 mm  
水平オフセット(H)： 25.4 mm    基点： 左揃え  
垂直オフセット(V)： 25.4 mm    基点： 下揃え

OK(O)    キャンセル(C)

- ⑥ PDF 出力するファイルにデジタル署名が挿入されます。

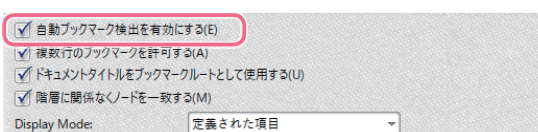
## 「ブックマーク」設定

「ブックマーク」では、出力する PDF から自動的にブックマークを検出するための設定をします。

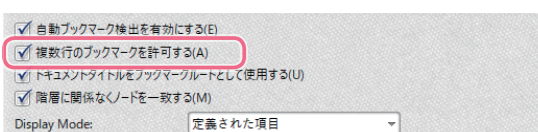


## 1 「ブックマーク設定」の設定項目

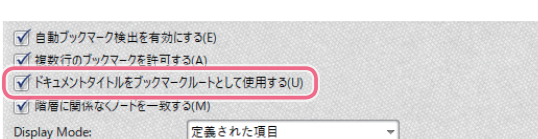
●自動ブックマーク検出を有効にする  
チェックボックスにチェックを入れると、出力する PDF のブックマークを自動的に検出します。



●複数行のブックマークを許可する  
1 行の長さを超えるタイトルをブックマークタイトルとして検出します。

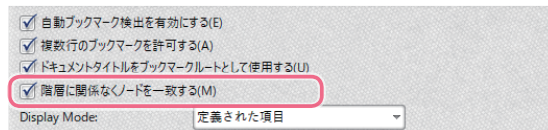


●ドキュメントタイトルをブックマークルートとして使用する  
ドキュメントタイトルを最上位階層のブックマークとして使用します。



### ●階層に関係なくノードを一致する

階層に関係なくブックマークにリンクを設定します。この設定を無効にすると、一部のブックマークが認識されないことがあります。



### ● Display Mode

ブックマーク階層の初期表示の方法を以下の項目から選択します。

#### 【すべて開く】

全ての階層を展開して表示

#### 【すべて閉じる】

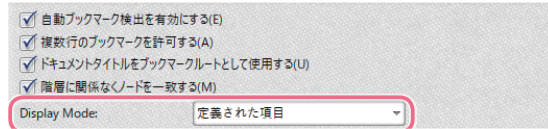
全ての階層を折りたたんで表示

#### 【定義された項目】

ブックマークレベルが展開または折りたたまれているかどうかを、「ディスプレイオプション」の「状況」チェックボックスを参照して表示

#### 【ノードレベルで開く】

このオプションが選択されているときに右側に表示される「レベル番号」ボックスに入力されたレベルのブックマークを展開して表示

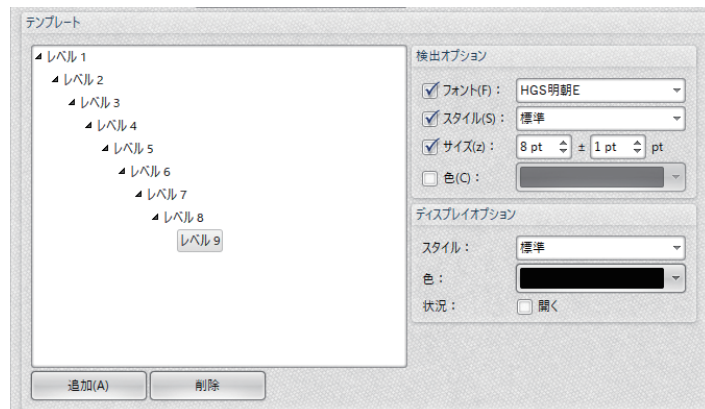


### ●テンプレート

現在の設定されているブックマーク階層のテンプレートが表示されます。「追加 / 削除」ボタンをクリックしてブックマークを構築し、「検出」および「表示」オプションを使用して、各レベル（階層）にブックマークの検出および表示方法を設定します。

#### ●検出オプション

各レベル（階層）の検索条件を、「フォント」「スタイル」「サイズ」「色」から単一または複数選択し、その条件に合致する文字列をブックマークとして生成します。



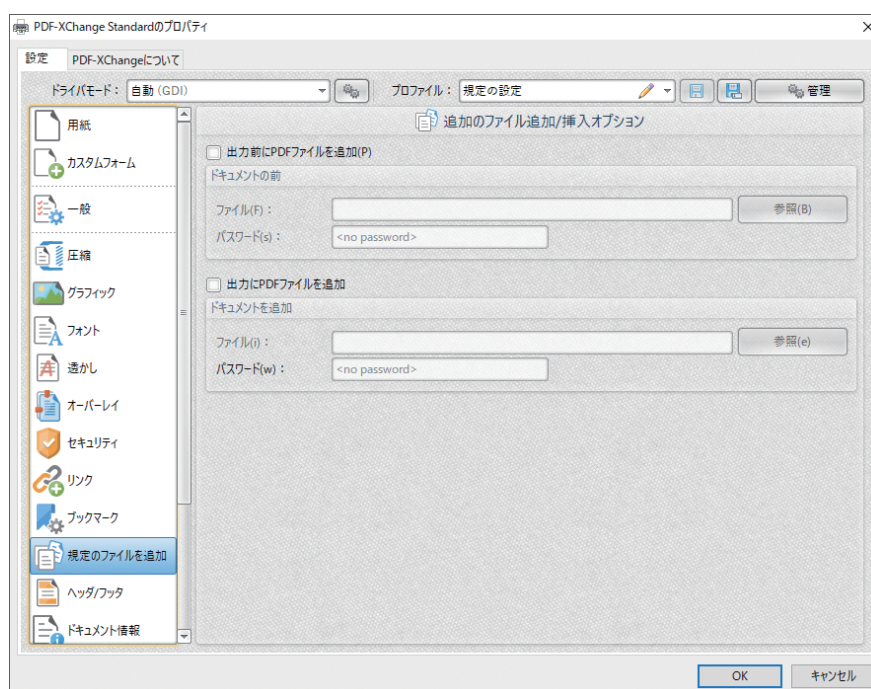
#### ●ディスプレイオプション

レベル（階層）毎にブックマークの表示方法（スタイル、色）を設定します。文書を印刷するときにはブックマークレベルを開くには、[開く] ボックスを選択します。



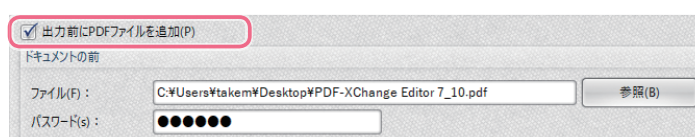
# 「既定のファイルを追加」設定

「既定のファイルを追加」では、PDFドキュメントの前後に既存のPDFファイルを追加する設定をします。表紙 / 奥付などの規定フォーマットをドキュメントに追加する際に利用できます。

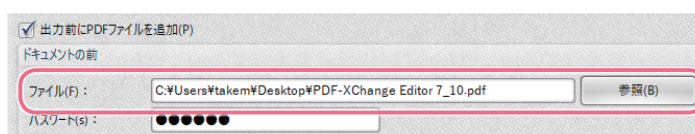


## 1 「出力前にPDFファイルを追加」の設定項目

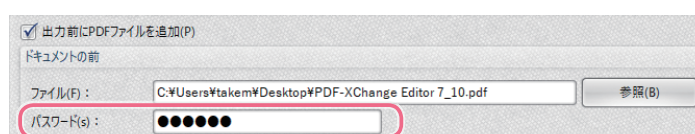
- 出力前にPDFファイルを追加  
チェックボックスにチェックを入れると、出力するPDFドキュメントの前ページに指定ファイルの内容が追加されます。



- ファイル  
「ファイル」テキストボックスに追加するファイルの名称を入力するか、「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択します。



- パスワード  
ファイルがパスワードで保護されている場合は、「パスワード」テキストボックスにパスワードを入力します



## 2 「出力にPDFファイルを追加」の設定項目

### ●出力にPDFファイルを追加

チェックボックスにチェックを入れると、出力するPDFドキュメントの後ページに指定ファイルの内容が追加されます。

出力にPDFファイルを追加  
ドキュメントを追加  
ファイル(f): C:\Users\takem\Desktop\PDF-XChange Editor 7\_10\_7.pdf 参照(e)  
パスワード(w):

### ●ファイル

「ファイル」テキストボックスに追加するファイルの名称を入力するか、「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択します。

出力にPDFファイルを追加  
ドキュメントを追加  
ファイル(f): C:\Users\takem\Desktop\PDF-XChange Editor 7\_10\_7.pdf 参照(e)  
パスワード(w):

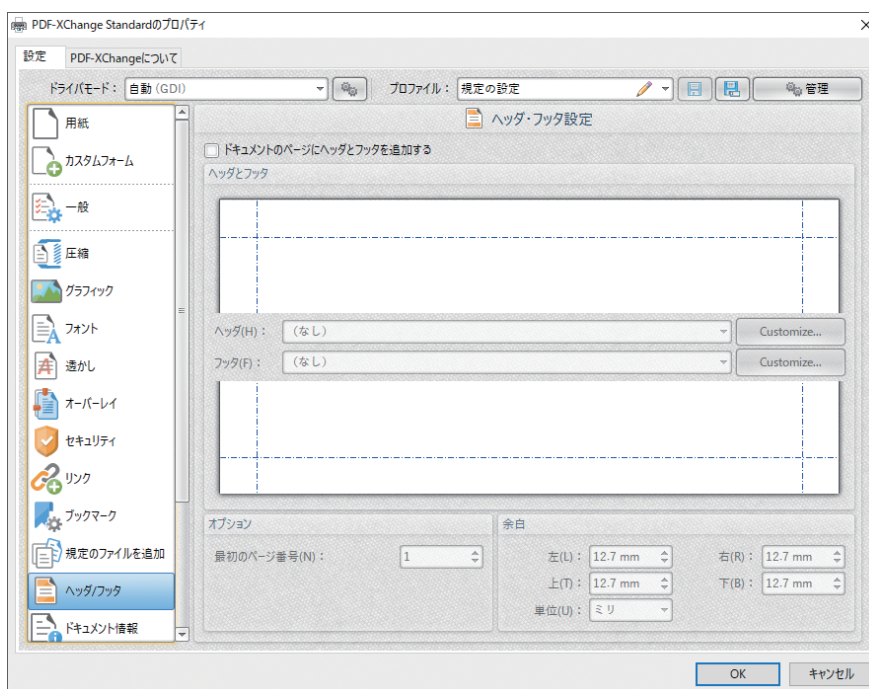
### ●パスワード

ファイルがパスワードで保護されている場合は、「パスワード」テキストボックスにパスワードを入力します

出力にPDFファイルを追加  
ドキュメントを追加  
ファイル(f): C:\Users\takem\Desktop\PDF-XChange Editor 7\_10\_7.pdf 参照(e)  
パスワード(w):

## 「ヘッダ / フッタ」設定

「ヘッダ / フッタ」では、PDFドキュメントにヘッダまたはフッタを追加する設定をします。



## 1 「ヘッダ・フッタ設定」の設定項目

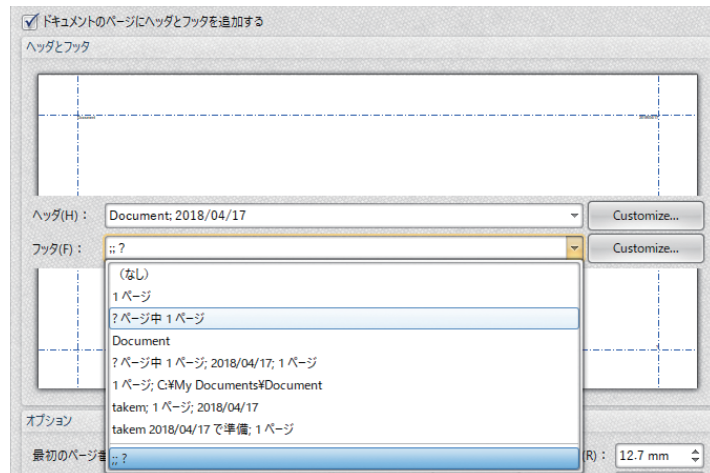
- ドキュメントのページにヘッダとフッタを追加する  
チェックボックスにチェックを入れると、PDFドキュメントにヘッダ / フッタを追加します。



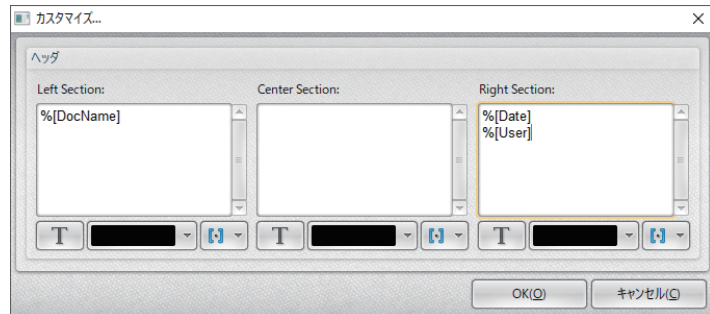
### ●ヘッダとフッタ

ドロップダウンメニューから、ヘッダ / フッタの書式を選択します。

「《ページ番号》」「《全ページ数》中《ページ番号》」「《ドキュメントタイトル》《日付》」といったヘッダ・フッタがよく使用される書式があらかじめ用意されています。



「Customise」ボタンをクリックすると、「カスタマイズ」ウィンドウが表示され、オリジナルの書式が登録できます。



### ●オプション

ヘッダやフッタを挿入する最初のページを右側のスピンボックスに数字で入力します。

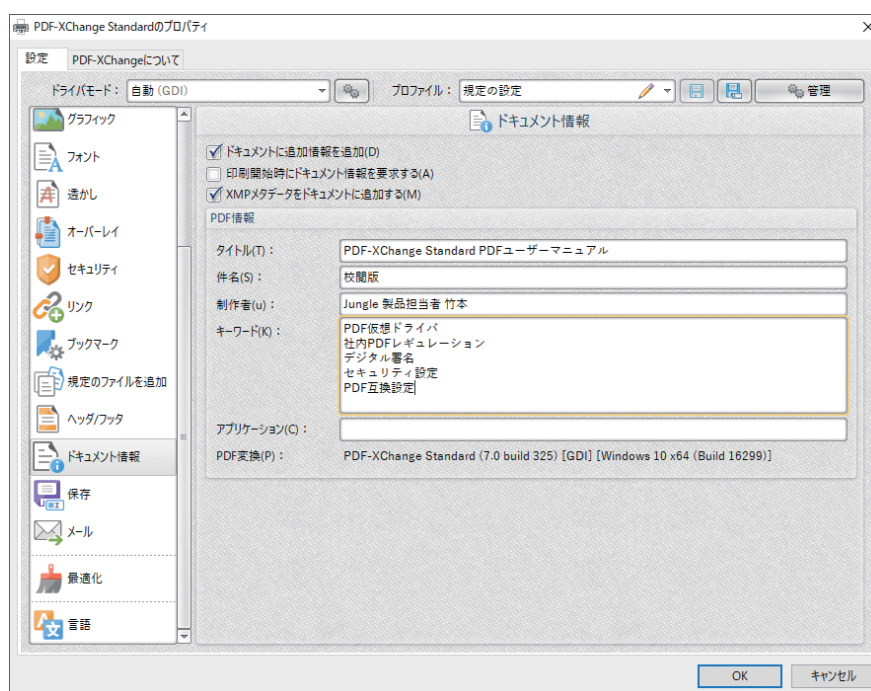
### ●余白

ヘッダとフッタに使用される余白を各スピンボックスに数字で入力して設定します。余白の設定を変更すると、プレビューペインの余白を示す線が、設定を反映した位置に更新されます。



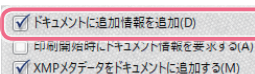
## 「ドキュメント情報」設定

「ドキュメント情報」では、PDFドキュメントにメタデータを追加する設定をします。

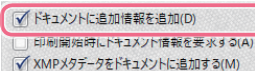


## 1 「ドキュメント情報」の設定項目

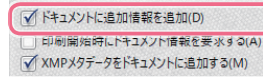
●ドキュメントに追加情報を追加  
チェックボックスにチェックを入れると、ドキュメント情報を編集できます。



●印刷開始時にドキュメント情報を要求する  
チェックボックスにチェックを入れると、PDF出力時に文書情報の入力を要求します。



● XMP メタデータをドキュメントに追加する  
ドキュメントに XMP メタデータを追加する場合は、チェックボックスにチェックを入れます。



XMP (Adobe Extensible Metadata Platform) は、様々なアプリケーション間および印刷出版関連の工程でのメタデータ (XML を使って記述された、ファイルの内容を示す情報) の交換に役立ちます。

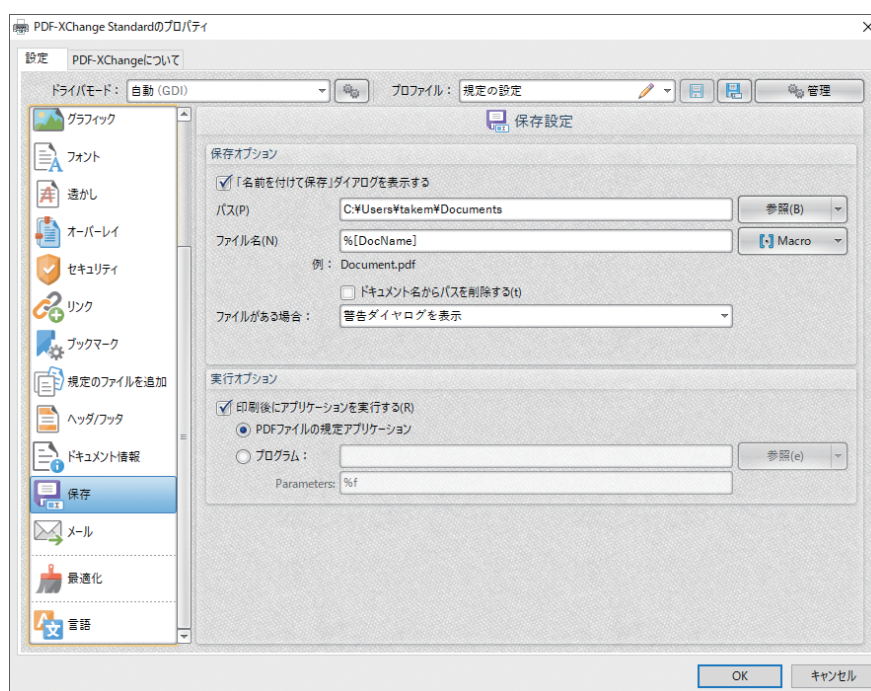
### ● PDF 情報

必要な情報を、各テキストボックスに入力します。

PDF 情報	
タイトル(T) :	PDF-XChange Standard PDFユーザーマニュアル
件名(S) :	秋葉版
制作者(u) :	Jungle 製品担当者 竹本
キーワード(K) :	PDF仮想ドライバ 社内PDFレギュレーション デジタル署名 セキュリティ設定 PDF互換設定
アプリケーション(C) :	
PDF変換(P) :	PDF-XChange Standard (7.0 build 325) [GDI] [Windows 10 x64 (Build 16299)]

## 「保存」設定

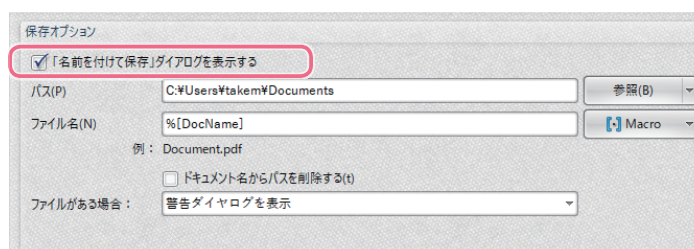
「保存」では、PDF 出力する際のファイル名や保存方法・保存先の初期設定、および PDF 出力後の動作を設定します。



## 1 「保存オプション」の設定項目

- 「名前を付けて保存」ダイアログを表示する

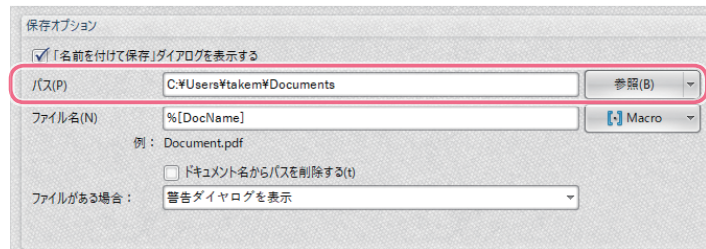
チェックボックスにチェックを入れると、印刷実行時に「名前を付けて保存」ダイアログが表示され、保存先およびファイル名を指定することができます。



### ●パス

「名前を付けて保存」ダイアログが表示された際のデフォルトの保存場所を設定します。

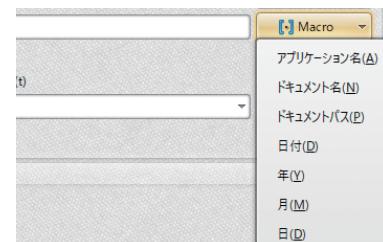
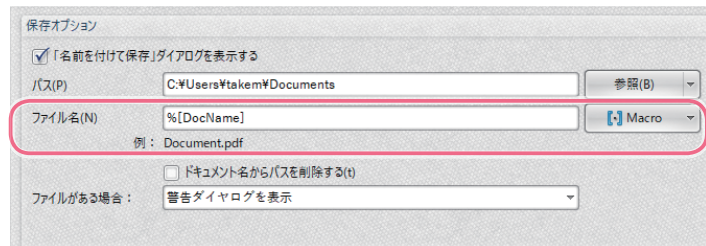
「参照」ボタンをクリックして保存場所を選択するか、ドロップダウン矢印(▼)をクリックしてデスクトップやマイドキュメントなどの標準で用意されている保存場所を選択します。



### ●ファイル名

「名前を付けて保存」ダイアログが表示された際のデフォルトのファイル名を設定します。

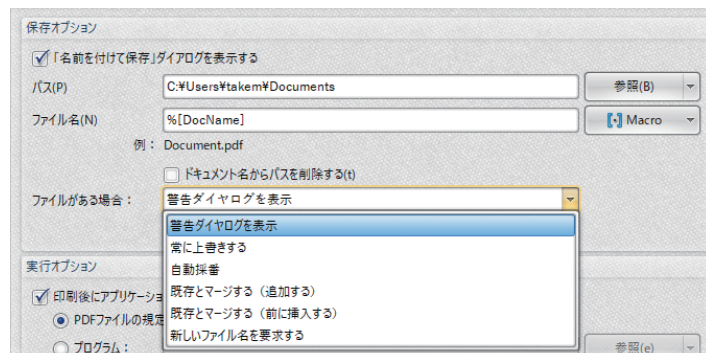
PDF出力時のファイル名をテキストボックスに入力するか、「Macro」ドロップダウンメニューから選択します。



Macroによるファイル名を設定すると、ドキュメント名や日付など一定の規則に基づいたファイル名を付けることができます。

### ●ファイルがある場合

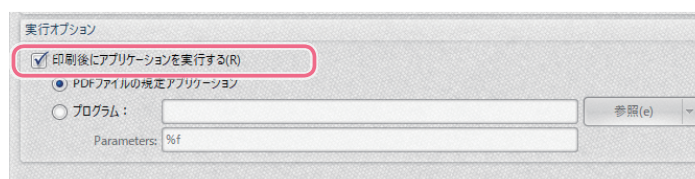
同じ名称のファイルが存在する場合に実行される処理をドロップダウンメニューから選択します。





## 2 「実行オプション」の設定項目

●印刷後にアプリケーションを実行する  
 チェックボックスにチェックを入れると、  
 PDF を出力した直後に該当の PDF ファイル  
 を指定したアプリケーションで開きます。

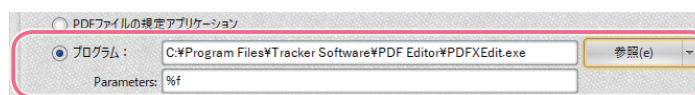


使用するアプリケーションは、以下の項目  
 から選択します。

【PDF ファイルの規定アプリケーション】  
 システムで設定されている PDF ファイル  
 の規定アプリケーション

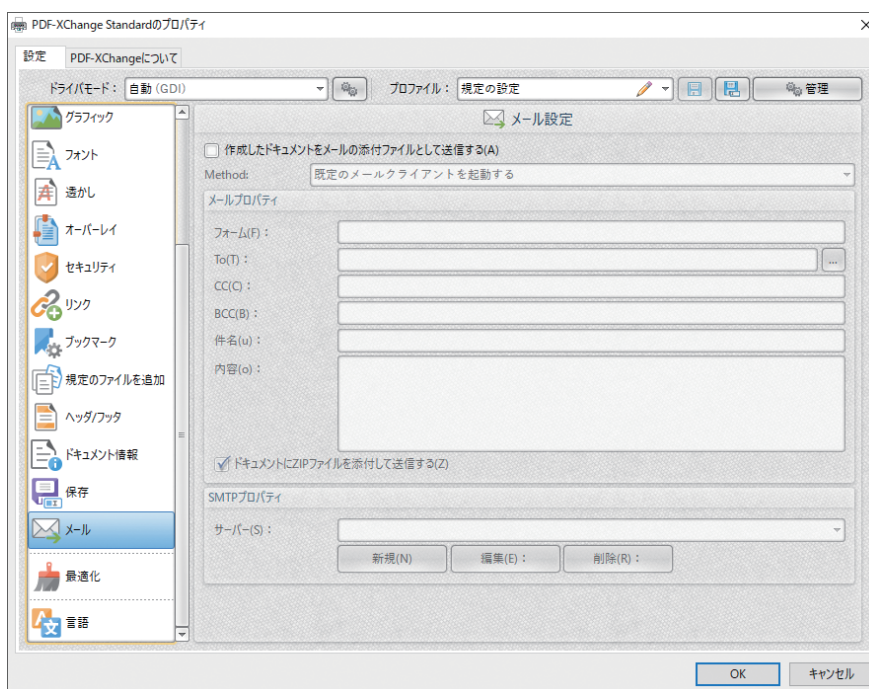


【プログラム】  
 テキストボックスに入力するか、「参照」ボタ  
 ンをクリックして選択したアプリケーション



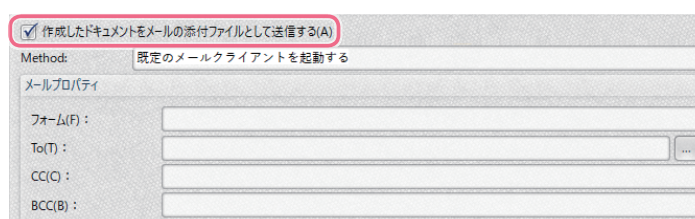
## 「メール」設定

「メール」では、PDF 出力したファイルをメールで送信する設定をします。



## 1 「メール設定」の設定項目

- 作成したドキュメントをメールの添付ファイルとして送信する  
チェックボックスにチェックを入れると、PDF 出力されたドキュメントが電子メールで送信されます。送信方法は、次項の「Method」で指定します。



## ●Method

ドキュメントの電子メール送信方法を以下の項目から選択します。

### 【既定のメールクライアントを起動する】

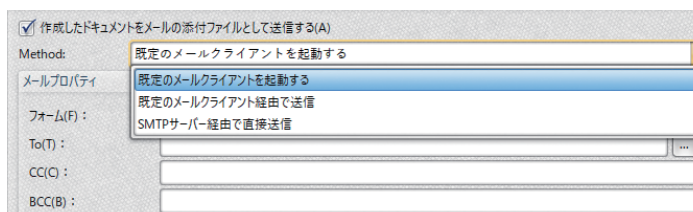
既定の電子メールアプリケーションを起動し、出力された PDF ファイルが添付されます。「メールプロパティ」テキストボックスに入力されたアドレス等の情報は、電子メールのデフォルト値としてメールアプリケーションに反映されます。

### 【既定のメールクライアント経由で送信】

出力された PDF ファイルが添付されたメールが、既定の電子メールアプリケーションで自動的に送信されます。

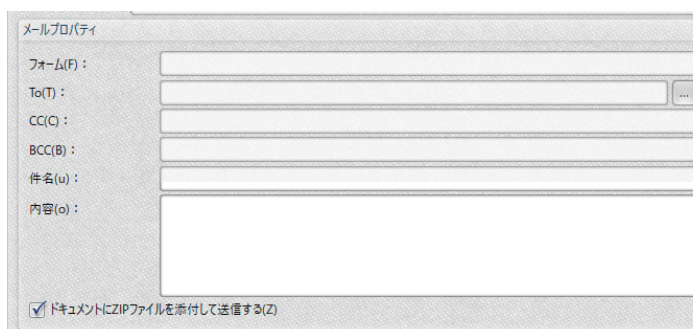
### 【SMTPメールサーバ経由で直接送信】

ウィンドウ下部のサーバーテキストボックスで指定されたサーバーを使用して、出力された PDF ファイルが添付されたメールで送信します。



## ●メールプロパティ

電子メールの送信に必要な情報を入力します。



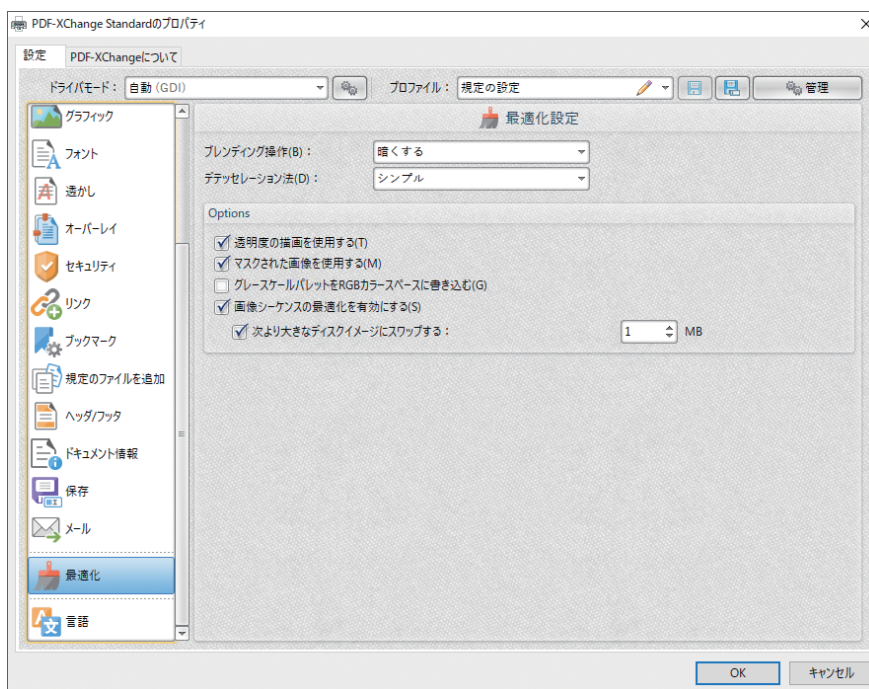
## ●サーバー

「新規作成」「編集」「削除」ボタンを使用して、SMTPサーバーの作成/編集/削除を行います。



## 「最適化」設定

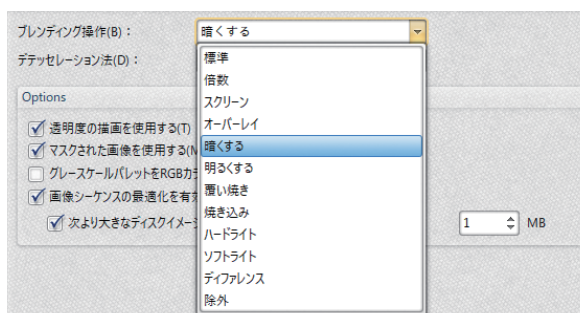
「最適化」では、PDFドキュメントを最適化するため、ドキュメントで使用されるブレンドモードの設定をします。



## 1 「最適化設定」の設定項目

## ● ブレンディング操作

PDF 背景画像が高解像度の場合、イメージを統合（ブレンド）し PDF ファイルサイズを適正化します。ブレンドアルゴリズムをプルダウンメニューから選択します。



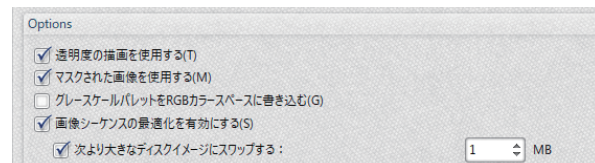
### ●デテッセレーション法

プルダウンメニューから「シンプル」を選択することで、高ポリゴン化している画像を、低密度化しPDFファイルサイズを適正化します。



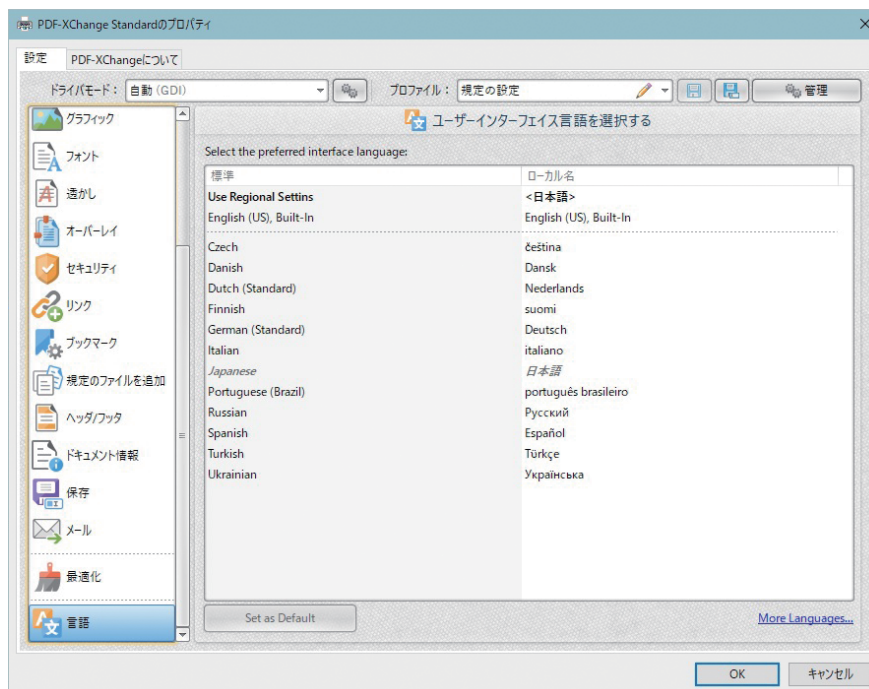
### ●オプション設定

必要に応じて、チェックボックスにチェックを入れ、項目を有効にします。



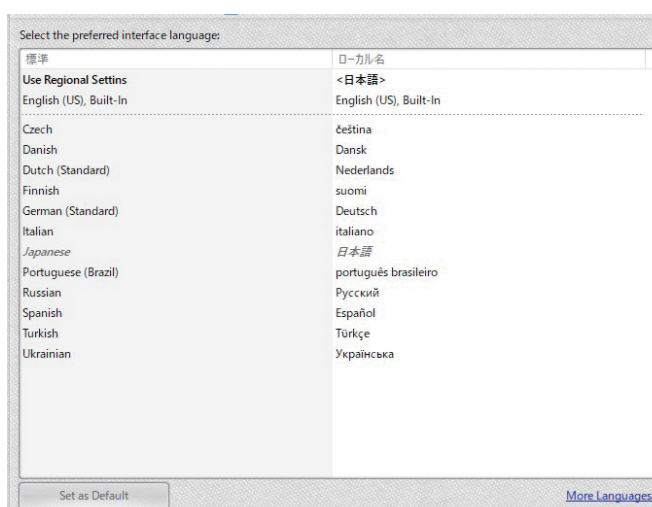
## 「言語」設定

「言語」では、ユーザーインターフェイスの言語を設定します。



## 1 ユーザーインターフェイスの言語の設定

使用可能な言語が表記されているウィンドウ内で、ユーザーインターフェイス言語として使用する言語を選択し、「Set as Default」ボタンをクリックします。



---

## PDF-XChange Standard ユーザーズマニュアル

2018年6月1日 初版第1刷発行

発行・発売： 株式会社ジャングル

Printed in Japan

Copyright ©2018 Jungle Inc.

乱丁・落丁の場合はお取り換えいたします。

本書の内容を無断で転記、転載することを禁じます。

内容についてのご質問、お問い合わせは、株式会社ジャングルのホームページ上からお問い合わせください。

株式会社ジャングル サポートセンター <https://www.junglejapan.com/support/>